

第六十二回
帝國議會
貴族院

關稅定率法中改正法律案特別委員會會議事速記録第四號

昭和七年六月十四日(火曜日)午前十時三十七分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレヂヤ只今

カラ委員會ヲ開會イタシマス、昨日一應質問ヲ打切りマシタガ、尙ホ緊要ナ事ニ付テ御質問ガアリマスサウデアリマスルカラ、此機會ニ引續イテ御質問ヲセラルヤウナ風ニ致シタイト思ヒマス

○藤原銀次郎君 農林大臣ノ御出デニナル

ノヲ待チマシテ、昨日北村君カラ質問サレタコト同ジヤウナ意味デゴザイマスケレドモ、其問題ハ後ニ留保イタシマシテ、今チヨット農林省ノ當局ニ御伺ヒシタイノデスガ、私が一番最初ニ御註文ヲ申上ゲマシタ此農産物ノ保護關稅ヲ實行イタサレマシタナラバ、ドレダケノ失業ノ救済ニナルカト云フ材料ノ御請求ヲ致シテ置キマシタガ、私ニハマダ其材料ノ御配付ガアリマセヌノデ、實ハソレヲ御請求申上ゲタイト存ジマシタ所ガ、今日ノ新聞ニ其材料ガ出テ居リマス、是ハ其新聞ノ記事ガドウ云フ記事カ分リマセヌケレドモ、「貴族院關稅委員會ニ提出セル所ニ依レバ左ノ如シ」ト書イテアリマス、恐ラク是ハ何カノ行違ヒデゴ

ザイマセウガ、請求者ノ私ニ御配付ニナラナイデ、新聞ニ御發表ニナルト云フノハドウ云フ事情デゴザイマセウカ、其邊ヲチヨット御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(長瀬貞一君) 只今農務局長

ガ居リマセヌノデ、早速呼び參リマス譯デアリマスガ、山林關係ニ付キマシテハドウ云フ新聞ノ記事デアリマスガ、私實ハ能ク今朝見ナカッタノデアリマスガ、實ハ此山林ノ關係デアリマス云フト、全ク此非常ナ山ノ中ノ、全國ニ散在シテ居リマスノデ、其爲ニ關稅引上ノ結果ドレ位ノ失業者ガ助カリマスカト云フコトハ、實ハ計算ガ付カヌデ居ル次第デアリマス、色ミヤッデ見マシタノデスガ、ドウモ十分ナ數ヲ得ルコトガ出來マセヌノデ、チヨット今直グニ云フコトハ困難カト思ヒマス、農務局長ハ呼ンデ參ルコトニ致シマス

○藤原銀次郎君 山林ノ方ノコトハソレデ

結構デゴザイマス、多分餘程御迷惑ドラウト思ヒマス、困難ドラウト思ヒマスカラ……ケレドモ其新聞ノ記事ニ依リマス云フト、今日ノ六月十四日ノ朝日新聞ノ記事デアリマスガ、小麥ノ關稅ヲ引上ゲラレルト

云フト、五ヶ年後ニハ年三百萬石ノ増產ガ出來ル、其結果新タニ利用サルベキ勞力ニ對シ農林省ヨリ貴族院ノ委員會ニ提出セル所ニ依レバ、左ノ如シト書イテアル、其關稅委員會ニ御提出ニナッタスレバ、私ハ請求者ダカラ私ニ御配付ガアル筈ダト思ッテ居ルノニ、私ノ方ニハ御配付ニナラヌデ、新聞ノ方ニ御發表ニナッテ居ルト云フノデアルカラ其理由ヲ承リタイ

○政府委員(長瀬貞一君) 今少シ御待チ下

サイマスレバ、直グニ農務局長ガ參リマスカラ……

○森平兵衛君 其間ニ商工省ノ當局ニ御尋

ネイタシマスガ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 商工省ノ政府

委員ハ御出デデスカ

○政府委員(竹内可吉君) 居リマス

○森平兵衛君 是ハ大藏省カモ分リマセヌ

ガ、從量稅ノ改正ノ中ニ「アルミニウム」ガアルヤウデアアル、私等ノ聞及ビマス所ニ依リマス、ト「アルミニウム」ト云フモノハ餘リ内地ニ生産ガナイト云フコトヲ承知シテ居リマス、ソレニ拘ラス從量稅ハ一律デゴザイマスガ、三割五分ノ増稅ト云フコ

トニナルノデアリマスカラ、矢張將來此「アルミニウム」ニ於テハ内地ニ生産シ、又之ヲ保護シテ生産スル可能性ガアルモノデアリマスガ、私ハ素人デアリマスカラ、チヨット御尋イタシタイ

○政府委員(竹内可吉君) 「アルミニウ

ム」ノ我國ニ於ケル此生産ヲ圖リタイト云フコトニ付キマシテハ、御承知デゴザイマセウガ數年來色ミ民間ニ於キマシテモ、亦政府當局ニ於キマシテモ考慮シテ居ルノデアリマス、大分最近ニナリマシテ此ガ自給計畫モ具體的ナモノガ立ッテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、唯事業ノ當初ニ於キマシテ、外國品トノ競爭ト云フコトヲ考ヘマス云フト、茲ニ何カ政府デ之ニ對スル相當ノ助成計畫ヲ爲サナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマスノデ、財政上ノ點ナリ、其他各般ノ事情ヲ考慮致シマシテ、何等カノ具體的助成計畫ヲ樹立シタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ只今御質問デアリマシタガ、今回從量稅ノ一律引上ゲノ中ニ「アルミニウム」ヲ若干引上ゲニナルノデアリマスガ、別ニ是ハ併ナガラ「アルミニウム」ノ助成計畫ガ具體化

致シテ居ルガ爲ニ關稅引上ゲヲスルト云フ意味デハナイノデアリマス、御話ノ如ク今日ハ全然其生産ガ我國ニ無イノデアリマ스가、唯從量稅ヲ從價稅トノ關係カラ致シマシテ一律ニ引上ゲル必要ヲ認メラレマシテ、之ニ對シマシテ新聞紙等ノ如キ特殊ノ使命ヲ有テ居リマスモノハ、唯一ノ例外ヲ置キマシタ外ハ例外ヲ置カナイト云フ一般方針デアリマス爲ニ、特ニ其「アルミニウム」ニ付キマシテ其例外ヲ認メナカッタ次第デアリマス

○森平兵衛君 只今商工當局ノ御答ニ依レバ「アルミニウム」ハ我國内ニ於テマダ生産ヲスル可能性ガアルヤ否ヤ、又之ヲ如何ニシテ可能ナラシムルカト云フコトノ根本原則ガ御決マリニナッテ居ナイヤウニ思フ、唯從量稅ガ一樣ニ三割五分上ガル、俗ノ言葉デ言ヘバ御相伴ヲ喰ッテ居ルト云フコトニ過ギナイヤウニ思フノデアリマスルガ、特別ノ新聞紙ノヤウナモノダケノ除外例ハ認メマaska、更ニ何等除外例ヲ設ケラレタルモノガナイト云フコトデアリマス、而シテ此「アルミニウム」ノ從來日本ニ入ッテ參リマス數量、金額ト云フモノヲ參考ノ爲ニ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(竹内可吉君) 御答申上ゲマス、「アルミニウム」ノ輸入ハ昭和五年ハ九百八十六萬圓餘デアリマス、昭和六年ハ大分減リマシテ三百三十一萬二千圓餘ノ輸入ニナッテ居リマス

○森平兵衛君 數量ハ御判カリニナリマセヌカ

○政府委員(竹内可吉君) 昭和六年ガ八百六十萬斤デゴザイマス、五年ノ方ガ千九百九十萬斤デアリマス

○北村宗四郎君 拓務省ノ政府委員ニ御伺ヒ致シマス……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ドウデス、政府委員モウ少シ勉強サレテハ

○北村宗四郎君 成ルベク大臣ノ御出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 藤原君、農林大臣ハ生絲ノ買收法案ガ本會議ニ掛ルサウデ、ソレデ向フニ行クサウデス

○藤原銀次郎君 代理ノ方ハ……

(政府委員(長瀬貞一君)「農林省ノ政府委員ガ居リマス」ト述フ)

○藤原銀次郎君 今ノ書類配付ノ問題デゴザイマスガ、此方カラ先ニ片付ケタイト思ヒマス、段々聞イテ見ルト、昨晚ノ夕刊ニ出テ居ルサウデス、サウスルト夕刊ニ出ル前ニハ二時間前ニ原稿が出タモノデアリマ

ス、私共ハ四時過ギマデ此處ニ居ッタノデス、新聞ニ御發表ニナル前ノ時ニハ我々ハ此處ニ居ッタノデアリマスカラ、二時ニ新聞社ニ御發表ニナッテ居リナガラ、翌日我々ノ方ニ、而カモコッチカラノ請求ヲ俟ッテ御配付ニナルト云フコトハ、是ハ貴族院ノ書記官ノ方ノ過チデアリマスカ、又ハ農林當局ノ方ノ過チデアリマスカ、ドチラノ方ノ過チカ知リマセヌガ、我々關稅改正委員トシテハ、少シドウモ變ナコトノヤウニ感ズルノデスカラ、誰方デモ宜シウゴザイマスカラ、然ルベク御答ヲ願ヒタイ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 私カラ代ッテ御答ヘ致シマス、今貴族院委員課ノ方カラ「昨日散會後委員會ヘ持參アリシタメ昨日配布出來ズ、爲ニ今朝配布仕候」ト云フテ、遺憾ノ意ヲ表シテ參リマシタカラ、ソレデ御諒承ヲ願ヒマス

○藤原銀次郎君 ソレデハ是モ、唯時間ヲ空シクスルノハ誠ニ遺憾ノコトデアリマスカラ、私カラ申上ゲマスカラ、大臣ニ能ク御傳ヘヲ願ヒマシテ、然ルベク御處置ヲ願ヒタイト思ヒマス、昨日北村委員ヨリ大臣ニ御尋ネニナッタ中ニ、今民間デハ材木業ガ非常ニ不況ノ爲ニ、非常ニ苦シンデ居ル、其際ニ當ッテ政府ガ國有林ヲ伐採シテ、サ

ウシテ民間ノ山林業ヲ壓迫スル、是ハ非常ニ困ルコトデアアルカラ、山林ノ施業案ト云フモノガアッテ、サウシテ一定ノ施業案ニ依ッテノ山林經營ト云フモノハ、是ハ致シ方ナイダラウト思フケレドモ、今日ノヤウナ非常時ニ際シテハ、何トカ考慮ガ出來ナイモノデアラウカト、斯ウ云フ趣意デアッタノデアリマス、是ハ此春ノ通常議會ニモ矢張り同様ナ質問ガ出マシタリ、同様ナ問題ガ繰返サレタノデアリマスガ、何時デモ政府ハ考慮スルト云フヤウナコトデアッテ、サウシテ其實際ニ於テハ矢張り民業ヲ壓迫シテ、サウシテ國有林ノ爲ニ民間ノ木材業者ガ非常ナ苦痛ヲ蒙ッテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、是ハ私モ其内情ヲ能ク承知イタスコトノ便宜ノ地位ニ居リマスカラ、能ク承知イタシテ居リマスガ、サウ云フ譯デアリマスカラ、ドウモ山林業者トシテハ、今日政府ノ國有林ノ經營ニ對シテハ、ドチラカト言フト好感ヲ持ッテ居ラスト云フヤウナノガ現在ノ狀況デゴザイマス、ソコデ是ガ平時デアリマシタナラバ多少民業ヲ壓迫シテモ、國有林ノ經營モ一ツノ國家ノ事業デアリマスカラ、國家ノ事業ヲ遂行スル上ニ於テハ、其同業タル民間ノ事業ヲ壓迫シテモ已ムヲ得ナイト思ヒマス平時ナ

ラバ……、併ナガラ今日ノヤウナ此非常時ニ於キマシテ、而カモ承レバ農村救済ト云フヤウナ非常支出ヲスルトカ、或ハ非常ノ手段ヲ施シテ農村ニ救済ノ資金ヲ貸付ケルトカ云フヤウナコトデ、農村救済ノ事ニ積極的ニ政府ハ金ヲ貸シ、若クハ之ヲ保護シテ、サウシテ農村ノ立行クヤウニスルト云フ積極的ノ救済方法ヲ御執リニナル御決心ヲ以テ、更ニ臨時議會ヲ召集サレテ、其對策ヲ講ゼラレルト云フヤウナコトヲ承テ居ルガ、サウ云フ非常時ニ際シテ非常ノ手段ヲ御執リニナルト云フコトニ付テハ、私共ハ贊成ヲ致シテ居リマシテ、一日モ早クサウ云フ手段ヲ御執リニナルコトヲ希望シテ居リマスガ、一方ニ於テサウ云フ工合ニ農村救済ノ爲ニサウ云フ手段ヲ講ゼラレルニモ拘ラズ、他ノ一方ニ於テハ假令政府ノ事業トハ言ヒナガラ民衆ヲ壓迫シテ、サウシテ山林經營者、即チ農村ニ非常ナ苦痛ヲ與ヘテ、非常ナ恨ヲ抱カシムルト云フヤウナコトヲ政府ガ御ヤリナサイマスト云フコトハ、非常ニ矛盾シテ居ハシナイカ、斯ウ云フ非常時ニ際シテハ假令平時ノ……、全體國有林ノ施業案ナドト云フモノハ斯ウ云フ時代ヲ豫想シテ編成セラレタモノデハナカラウト思フ、平時ノ經濟界ヲ豫想シテ編成

セラレタモノデアラウト思ヒマスカラ、其施行案ヲ遂行スル時ニ當テ、斯ウ云フ非常時ニ際會シタラバ、又非常時ノ手段方法ヲ講ゼラレテ、農村ヲ壓迫シタリ、山林業者ノ恨ヲ買フト云フヤウナコトハ、出來ルダケ御避ケニナッタ方ガ私ハ至當デナカラウカト思フ、ソコデハ民間ノ山林業者ノ中ニ毎年出テ來ル問題デアリマシテ、議會ニモ毎年サウ云フ質問ガ出ルノデアリマシテ、特ニ今度只今ノヤウニ民衆ガ不況ニナッテ、山林業者及ビ木材業者ガ苦ムヤウニナルト云フト、一層此聲ガ高クナルノデアリマスカラ、斯ウ云フ際ニ矢張り施業案ガアルンダカラ、施業案通りニ遂行スルンダカラ、事業本位デ行クンダト云フヤウナ御趣意デアッテハ、少シドウモ政府ノ方針ガ矛盾シテ居ハセヌカト思フ、ダカラ是ハ非常ナ政策論デアリマシテ、行政ノ一ツノ事務的ノ問題デナイカラ、農林大臣ニ伺フノガ當リ前ト思ヒマスガ、併シ御出席ハナケレバ是ハ致シ方ガナイカラ、ソレニ對シテ政府ハドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ルカ、ドウ云フ御方針デアルカ、唯考慮スルトカ何トカト云フヤウナコトダケデハ、ドウモモウ今日デハ濟マナイダラウト思フ、

之ニ對シテ若シ御答ヘガ出來マスナラバ、承リタイ
○政府委員(長瀬貞一君) 只今農林大臣ハ本會議ニ出テ居ラレマスルノデ、コチラニ御要求ノ御アリニナリマスコトハ、只今私御傳ヘ致シテ置キマシタノデスガ、差當リ事務當局ノ方面デモ何カ只今ノ御質問ニ付テ考ガアルカナイカト云フ御話デゴザイマスルカラ、少シ私共トシテハ問題ガ大キ過ぎルヤウニ思ヒマスケレドモ、私共ノ考ヘマスル範圍内デ御答ヘ申上ゲタイト存ジテ居リマス、非常ナ不況時ニ際シマシテ、相變ラズ國有林ガ年々ノ伐採額ヲ繰返シテ居ルト云フコトハ非常ナ民間林業家ノ壓迫ニナルト云フコトデアリマス、私共モ是ハ一應御尤モト存ジテ居リマス、毎々繰返シマスヤウニ國有林ト云フモノガ内地ニ於ケル森林ノ中デ占メマス部分ト云フモノハ現在四百二十町歩バカリデアリマスノデ、其割合カラ言ヒマスト云フト、實ハ左程大キナ部分デハナイ、無論小部分トハ申シマセヌケレドモ、ナイト思フノデアリマス、元來斯ウ云フ生物デアリマスルノニ搗テ、加ヘテ内地ノ地勢モ相當ムヅカシイ國土保安トカ治水トカ云フヤウナ關係ヲ有ッテ居リマスルノデ、自然之ニ扱ヒマスルニハ矢張り比

較的此施業案デ認メテ居リマスル所ノ年代標準量ト云フモノニ大シク出入リナク先ヅ伐材ヲ續ケテ行クト云フコトデ老齡、過熟ノ材木ヲ淘汰シテ常ニ壯齡林ニ之ヲ導イテ先ヅ更生ノ狀態ニスルト云フコトガ私共ハ理想デアルト思フノデアリマス、唯、只今ノ御話ノ通りニ非常時デアッテ態々金迄出シテ農山村ノ窮狀ヲ救ハウト云フ際デアリマスカラ、此際ニハ別個ノ考ガナクチヤナラスト云フ、斯ウ云フ御話、是ハ私御尤モダト存ジマス、實ハ七年度ニ於キマシテハ僅カデアリマスケレドモ、此六年度ノ伐材量カラ見マスルト云フト幾分カハ減ラシテ居ル積リデアリマス、又一番零細ナ資金デ極ク氣ノ毒ナ生活ヲ致シテ居リマスノハ、林業中デモ製炭業者即チ炭燒キデアアルノデアリマス、此關係ガ國有林製炭ノ爲ニ壓迫ヲ受ケルト云フノ國有林製炭ノ全廢ト云フコトヲ年々私共ハ耳ニ致スノデアリマス、ソレデ此製炭關係ニ付キマシテハ、是ハ幾分私モ考ヘナクチヤナラヌ、元ノ起リハ森林ノ更新ノ爲ニ伐採ノ方法ト云フコトガ非常ナ關係ヲ有チマスル爲ニ、官行デ研伐ヲ致シマス、サウシテ其生産物ヲ有利ニ捌キマスル爲ニ官行製炭ト云フコトガ、起ッタノデアリマスケレドモ、今日斯ウ云フ

非常時デアリマスカラ更新ニ差支ガナイト云フ限度ニ於テ出來ル限リ此製炭ノ關係ハ考慮シテ參リタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、何レニ致シマシテモ施業案ト云フモノガ左様ニ釘付ケノモノデハナイト云フコトハ私共御同感デアリマス、唯現在デハ日本ノ地勢ニ鑑ミマシテ、此年々ノ斫伐標準量ト云フモノノ、出入リハ極メテ僅カナ所ニ裕リガ取テアルダケニナッテ居リマスノデ、是ヲ今直ニ大キク出入リヲサセルヤウニ施業案ノ組直シヲヤルト云フコトハ少シ是ハ考慮ヲ要スルト思ヒマスノデ、只今モ御説ガゴザイマスノデ、私共ハ一ツ其御趣旨ヲ加味イタシマシテ出來ルダケ研究ヲ續ケタイト存ジテ居リマス

○藤原銀次郎君 政府委員ノ御答辯ニ付テ、ドウモモウ少シヨク徹底シタ御話ヲ承リタイト思フノデアリマス、只今ノ御説明ニ依ルト云フト國有林カラ伐採スル數量ハサウ大シタ數量デナイト云フヤウナ御話デゴザイマシタケレドモ、ドウモ今日ノ所ニナッテ見ルト平時ノ國有林ノ伐採數量ハサウ澤山ナ數量デナイノデゴザイマスケレドモ、今日ノヤウニ不況ニナッテ來マスト云フト、民間ノ方ノ木材ノ伐採量ト云フモノガ段々ニ減テ參リマシテ、不景氣ノ爲ニ賣レナイモ

ノデスカラ、減テ參リマスカラ、ソレデ國有林カラ出ル方ハ減ラナイ、却テ其豫算ノ金額ヲ辻褄ヲ合ハセル爲ニ木材ガ安クナレバ數量ヲ餘計ニ出サナケレバ其金額ノ收入ヲ得ラレナイト云フ爲ニ或ル場合ニ於テハ國有林ノ方ハ伐採量ガ殖エルノデアリマス、ソレデアリマスカラ民間ノ木材業ニ及ボス影響ト云フモノハ非常ニキツクナルノデアリマス、ソコデチョット承レバ今ノ所デハ民間ノ方ガ約三千万石、ソレニ對シテ政府即チ農林省、御料局其外内務省關係等ヲ併セテ二千万石ニナルト云フコトデアリマスガ、此數字ハ私ハマダ能ク詳シクハ承知シマセヌガ、大體ニ於テサウナルサウデアリマス、サウスレバ此數字ガ必シモ少イトハ申サレマイト思ヒマス、ソレカラ又此施業案ト云フモノハ山林經營ノ一ツノ根本ノモノデアリマスカラ之ヲ度々變更スルト云フコトハ山林經營上宜シクナイコトモ之モ私ハヨク諒解イタシテ居リマシテ、能ク承知イタシテ居リマスケレドモ私ノ申シマスノハサウ云フコトヲ申シテ居ルノデハナイノデ、斯ウ云フヤウナ不況時ニナッタノダカラ農村ニ對シテ怨嗟ノ聲ヲ揚ガサセルト云フヤウナコトヲ政府ハ成ルベク御避ケ

テ、一方デハ菓子ヲ與ヘ、飴ヲ與ヘテ子供ヲ喜バセテ置イテ、サウシテ一方ニ於テハ尻ヲ抓メタリ、足ヲ抓タリスルヤウナコトヲ爲サルノハ政治デハナイト思ヒマス、矢張り農村ヲ救済シ、農村ヲ撫育シヤウト云フ御方針デアルナラバ、農村ヲ虐メテ、農村ニ苦痛ヲ與ヘテ、之ヲシテ非常ニ困ラシメテ、怨嗟ノ聲ヲ揚ガサセルト云フヤウナコトハ御止メニナル方ガ宜クハナイカ、私ハ此林業ニ付テハ若干ノ經驗ヲ持ッテ居リマスガ、施業案ヲ一年ヤ二年ヤ三年間中止スルトカ、或ハ或ル一部分ノ施業案ヲ變更スルトカ云フヤウナコトハ絕對ニ不可能デアルカ、不可能デナイカト言ヘバ是ハ絕對ニ不可能ダト云フコトヲ申ス人ハ殆ド技術家ニ於テモナカラウト思フ、理窟ヲ申セバ或ハ水源涵養ダトカ、或ハ樹齡ニ達シテ居ルカラ之ヲ伐採シナケレバナラヌトカ、或ハ之ヲ植林ノ計畫上用ルトカ色々サウ云フヤウナ反對ノ論ヲ立テレバソレハ幾ラモ立チマセウ、ケレドモ又一方カラ森林ノ狀態ニ依ッテハ十萬石伐採ノ豫定ノモノヲ五萬石ニ減スト云フコトハ一向差支ナイ、又此森林ハマダソレ程老齡ニ達シテ居ナイカラ三年ヤ五年ハ延バサウデヤナイカト云テモ一向差支ナイ、其森林ノ狀態ニ依リソ

レハ一向差支ノナイモノデアルト私ハ信ジテ居リマス、サウ云フヤウナ此二千万石モ御伐リニナルモノデアラナラバ之ヲ半分ニシテ一千万石ニシテ、サウシテ何トカ二年ナリ三年ナリ今日ノ不況時ヲ突破スルダケノ期間、施業案ニ或ル一部ノ變更ヲ加ヘテ、サウシテ農村ヲシテ今日ノヤウナ恨ミヲ懷カシメナイヤウニスルト云フノモ矢張り政府ト云フ大キナ立場カラ考ヘレバ肝要ナコトデヤナカラウカト思フ、唯農林當局ノ此國有林ヲ扱ッテ居ル所ノ作業ノ首腦者ノ方ノ立場カラノミ御考ヘニナレバ多少民業ニ壓迫ヲ加ヘヤウガ、民間ノ材木ヲ低落セシメヤウガ、製炭業ガ苦シマフガ、山村ノ住民ガ糊口ニ困ラウガソナコトハ顧ミラレナイ、自分ノ擔當シタ所ノ仕事ノ成績ヲ舉ゲルト云フコトガ必要デアルト云フヤウナ御考ニナルノモ、是ハ無理ハナイト思ヒマス、其擔當當局ハ……併ナガラ是ハサウ云フコトノミデ御考ヘニナッテ此國有林ノ御經營ヲ爲サレバ政府ト云フ大キナ立場カラ云フト非常ニ矛盾ガ起ッテ來デ、ソレガ爲ニ思ヒモ依ラナイ又色々ナ問題ガ起ルカトモ存ジマス、ソレデアリマスカラ私共ハ此處デ内地ノ森林政策ノ上カラモット高イ所カラ、廣イ所カラ御考ヘニナッテ、サウシテ

今日ノ日本ノ現狀ニ於テハ農村救済ト云フヤウナコトガ必要デアルト云フコトヲ政府ガ御認メニナッタラバ、サウ云フ大キナ方針カラ森林經營モ矢張り御考ヘニナッタラバ宜カラウト、斯ウ思フノデアリマス、決シテ施業案ヲ毎年度變更サセルト云フコトハ宜クナイトカ、水源涵養ノ上カラ施業案ヲ變更スルコトハ出来ナイトカサウ云フヤウナ問題ハ申スノデアリマセヌ、森林ノ經營上ニ付テハ多少ノ經驗モ知識モ……マア北村委員ノ如キハ最モ専門家デアリマシテ、我々モ若干サウ云フ内情ヲ能ク承知シテ居ルモノデアリマスカラ、ソレデ其内情ヲ承知シツツ此質問ヲ致スノデアリマスカラドウゾ本當ニサウ云フ點ニ付テハ誠意ヲ以テ御考ヘニナッテ毎年ノ議會ニ毎年同ジヤウナ質問ヲシテ、毎年考慮スルト云フヤウナコトデナク、今回ハ特ニ何トカ一ツ御考ヲ願ヒタイト斯ウ思フノデアリマス……今二千万石ト申シマシタ、其中一千万石ハ樺太ノモノガ入ッテ居ルサウデアリマスカラ内地ノ方ニ於テハ一千万石ト訂正ヲ致シマス

○政府委員(長瀬貞一君) 只今ノ藤原サンノ御質問ハ私誠ニ御尤ダト思フ、ソレデ北村サン、藤原サンアタリハ林業ニ御經驗ノ

深イ御方々ノ御考デアリマスカラ、私共ハ出来ル限り尊重シテ考慮モ致シタイと思ッテ居リマスルガ、當初御心配ニナリマシタ通りニ矢張り私共ハドウモ事務ノ範圍デ考ヘ勝チニナルノハ、是ハドウモ致シ方ガナイノデアリマスガ、一面ニ收入ノ豫算ト云フモノモ持チマスルシ、一面カラ申シマスレバ、國有林ノ事業ノ爲ニ相當數ノ労働者ヲ使ッテ居リマス、尤モ昨日デアリマシタカ、ソレハ成林撫育ノ遅レテ居ルノニ使ヘバ相當コナシテ行ケルデハナイカト云フ北村サンノ御説モアツタヤウデアリマス、ガ成林撫育ニ要シマスル人夫ニ何程ヲ取りマシタ所デ現在伐採土木其他ニ用キテ居リマサル國有林労働者ト云フモノヲ相當數ヲ是ハ抱ヘテ居リマスノデ、今一氣ニ伐採量ヲ半減スル、或ハ三分ノ一ニスルト云フコトニナリマスルト、此方面ニモ幾分ノ差支ハ出テ參ルコトニナリマスルノデ、ドウカ是ハ一ツ私共ノ……事務的ニ考ヘマスルト現在ノ施業案モ先程申シマシタヤウニ決シテ釘付ケノモノデハナイノデアリマス、幾分カノユトリヲ取ッテ居リマスノデアリマス、ソレト此收入ノ關係ヲ見合ヒマシテノ私共ノ考慮ニ致シタイト思フノデアリマス、若シ是ガ徹底的ニト云フコトニナリマスルト、

ドウシテモ昨日北村サンカラモ御話ガアリマシタヤウニ國有林ノ特別會計ト云フ問題ガ玆ニ轉ジテ來テ之ヲドウシテモ考ヘナケレバナラヌコトト存ジマスガ、兎ニ角七年度ニ於キマシテハ幾分此需要ノ關係モ……需要減退ト云フ關係モ考慮イタシマシテ、此需要等モ減ラシテ置キマスシ、更ニ製炭ノ關係ニ付キマシテハ私共出来ルダケ一ツ考慮シヤウト云フコトヲ考ヘテ居リマス、ドウカ其點デ一ツ御了承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○藤原銀次郎君 事務當局トシテノ御話トシテハ多分其位ナコトデアラウト思ヒマス、私ハソレ故ニ是ハ農林大臣ニ御伺ヒシタイ、斯ウ云フ風ニ申上ゲタ譯デアリマスルノデ、決シテ事務當局ニ付テ彼是レ申スノデヤゴザイマセヌカラ、其點ハ能ク御承知ヲ願ヒマシテ農林大臣ニ能ク此事ヲ御傳ヘヲ願ヒタイ

〔見エマシタ〕ト呼フ者アリ
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 農林大臣丁度見エマシタ

○藤原銀次郎君 左様デスカ……ソレデヤモウ一ツ補足シテ申上ゲマスガ、今ノ失業者ノ云々ト云フ御説明ガアリマシタガ、是ハ少シ政府委員ノ御話ガドウカト思フノデ

アリマス、ト云フノハ政府ノ方デ伐採量ヲ殖ヤシテ國有林ノ御經營ニナレバ民間ノ方ノ伐採量ガソレダケ減ルノダカラ、労働者ノ方ノ使用關係ニ於テハドツチニシテモ大シタ違ヒハナイ、政府ノ方デオヤリニナレバ其方デ労働者ヲ澤山御使ヒニナル、サウスレバ民間ノ労働者ハ少クナル、斯ウ云フ譯デアッテ、要スルニ其年ノ需要ノ數量シカ伐採出来ナイモノデアルト大體ニ於テハ思ヒマスカラ、労働者ナント云フモノハ大シタ問題ニハナルマイト私ハ思ッテ居ル、ソレデ……然ラバ農林大臣カラドウゾ御答ヲ願ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 御質問ヲ丁度本會議ノ方ヘ出テ居リマシテ伺ハナイデ、或ハ御答ヘスルコトガチグハグニナルカモ知レマセヌガ、其時分ニハチヨット御注意ヲ願ヒタイ、國有林ニハ施業案ガアッテ之ニ基イテ伐採ヲシテ、更ニソレヲ市場ヘ賣出シテ居ル、斯ウ云フ木材ノ價ガ下落ヲシテ一般ノ森林業者ガ困ルノハ、政府ノ施業案ニ依ル木材ノ伐り出シヲ制限スルコトヲ考慮シタラドウカ、サウ云フ御尋デゴザイマシタガ、昨日モチヨット申上ゲマシタヤウニ此國有林ノ伐採ハ一方ニハ一定ノ造林計畫、理想的ノ造林計畫ニ基ク施業案ニモ依リマ

スルシ、一面ニハ財政上收入ヲ見ルト云フ關係ヨリ生ジテ居リマスノデ、旁ミ兩方ノ見合ヲ付ケテ適當ナル處置ニ出テ居ルヤウナ譯デアリマス、デ今日一般ノ木材界ガ不況デアルト云フ時ニ政府ガ此施業案ヲ固守シテ何處マデモ木材ノ相場ガドウナルノモ構ハズ、出スト云フヤウナコトヲスルノガ宜シトハ決シテ考ヘテ居リマセヌ、唯施業案ガ可ナリ技術的ノ計畫ニ基イテ居リマスルシ、又一方ニハ財政等ノ關係モアリマスルノデ、只今御話ノヤウナ一般市場ノ木材價格關係、ソレカラ民間ノ山林業者ニ與ヘル影響ト云フヤウナモノモ十分ニ考慮シマシテ、ソレ等ノ點カラマア適當ニ國有林ノ木材伐り出シト云フヤウナコトモ考ヘナケレバナラヌ、絶對ニ之ヲ侵シテハイカヌモノダト云フ風ニハ思ヒテ居ラナイ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○藤原銀次郎君 農林大臣ノ只今ノ御答ハ昨日北村委員カラノ御質問ニ對シテ御答ヘニナツタコトト同一ト考ヘテ居リマス、私ノ今日御質問ヲ申上ゲタイノハサウ云フ同様ノ質問ニ對シテ同様ノ御答辯ヲ要求シタモノデハゴザイマセヌ、是ガ平時デアリマシタナラバ昨年モ矢張り當議會ニ……此春ノ議會ニモ此問題ガ出マシテ矢張り當時ノ

農林大臣カラ同様ノ御答辯ガアツタ記憶シテ居リマス、是ハ平時ノ問題デアリマスレバ丁度農林大臣ノ御答ノ通りデアリマス、施業案ト云フモノモアリマスカラ又豫算ノ關係モアリマスカラ之ヲ無視シテ、民間ノ山林業者ガ困ルカラト云フテ始終變更スルト云フコトハ豫算及施業案ニ關係ガアリマスカラ出來ナイ、單ニマア考慮スル、考慮シヤウト云フ位ノコトデ平時ハ私ハ濟ミマセウト思ヒマス、今日私ガ質問イタシマスルノハ、承レバ政府ハ今日ノ時局ヲ非常ニ重大ニ御考ヘニナツテ、農村救済ト云フコトニ對シテハ非常特別ナル方法ヲ以テ、或ハ巨額ノ金ヲ出ストカ或ハ農産物ノ價格ヲ吊り上ゲルトカ、或ハ貨幣制度ヲ改正シテサウシテ物價ノ向上ヲ圖テ農村ノ救済ヲスルトカ、色ミナコトニ付テ非常特別ナル救済案ヲ御考ヘニナツテ居ルト云フコトヲ承テ居リマス、是ハ私共實ニ必要ナコトデアルト思フノデアリマスカラ、其農村救済ニハ雙手ヲ舉ゲテ賛成シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ非常特別ノ場合ニ於テ非常特別ノ方法ヲ爲サルト云フコトハ御尤ナコトデアアルカラ、ソレハ賛成ヲ致シテ是非一日モ早ク實現スルヤウニシタイと思フノデアリマスガ、サウ云フコトヲ一方ニ

爲サツテ居リナガラ、又御考ヘニナツテ居リナガラ、他ノ一方ニ於テハ、農村ヲ苦シメテ農村ニ怨嗟ノ聲ヲ起サシメテ、サウシテ山林業者ニ非常ナル苦痛ヲ與ヘルト云フヤウナコトヲ其儘御實行ナサルト云フノハドウ云フ譯デアアルカ、一方ニサウ云フコトヲ非常特別ナル手段ヲ御施シニナルナラバ矢張り農村救済ノ一ツデハアリマセヌカト斯ウ云フコトデアリマス、森林業者ヲ助ケルト云フコトガ、助ケル反對ニ森林業者ヲ壓迫シテ、農村ヲ壓迫シテ政府事業ヲ遂行シテ、施業案ガアルカラ、豫算ガアルカラト云フ政府事業ヲ遂行シテ、農村ヲ壓迫スルヤウナコトヲスルノハドウ云フ譯カト、即チ一方ニ菓子ヲ與ヘ餉ヲ與ヘテ慰撫シテ、一方ニ足ヲ捻ツタリ尻ヲ捻ツタリシテ居ルト云フ風ニナリハシマセヌカ、斯ウ云フコトハ即チ本當ノ政治デアリマスガ、ガカラ是ハ事務當局トシテハ豫算モアリマスシ、事業ノ成績ヲ舉ゲルト云フコトモアリマスカラ、今日マデノ爲サルコトガ決シテ間違タコトトハ思ヒマセヌ、是ハ止ムヲ得ナイコトト思ヒマス、少シ位ナ不景氣ニ際會シテモソレハ止ムヲ得ナイコトト思ヒマスガ、併ナガラ一國ノ國務大臣トシテ大所高所カラ御覽ニナツテ、サウシテ此非常特別ナ政策

ヲ施シテ農村ヲ救済シヤウト云フ御考デアレバ、今日ノ森林政策ハ少シ矛盾シテ居ナイカ、何トカ御考ヘニナル餘地ハナイノカ、毎年考慮スル、御尤ダカラ考慮スルト云フヤウナコトハ、每議會デ每當局大臣カラ承テ居ルコトデアアルガ、今日ハサウ云フヤウナコトデ済マヌノデハナイカト、斯ウ云フコトヲ考ヘタノデ其質問ヲ致シタノデゴザイマス

○國務大臣(後藤文夫君) 私ノ御答ヘシマシタ趣旨ガ、藤原サンノ希望セラレル所ト同ジ方向ニ實ハ向イテ御答ヘシタコトト思ッテ居リマスガ、前ノ當局者ハドウ云フ風ニ御答ヘシタカ存ジマセヌガ、私ノ言葉ガ同ジヤウナ形ニナツテ居ッタノデ、何デモ考慮タタト云フテヤツテ、施業案ヲ絶對ニ守リ、財政ノ關係カラ之ヲ少シモ動カスコトナク、ヤツバリ其儘ヤツテ行クノデヤナイカト云フ御懸念ノヤウニ存ジマスガ、私ノ申シマシタコトハ私ノ申シマシタ言葉通りニ一ツ御取り下サツテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、只今ドレダケノ計畫デドレダケノ伐り出シ制限ヲアルカ、或ハソレヲ財政ノ關係デドウスルカト云フコトハ確定シタ上デナケレバ、私ハッキリシタコトヲ申セナイノデアリマスガ、十分ニサウ云フ點ハ考

慮シテ見タイト考ヘテ居ル譯デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 藤原サンソレ

デ宜シウゴザイマスカ、農林大臣ハ、豫算ノ方ガ丁度討論デ、大臣ガ居ナイノデ決ニ這入ルコトガ出來ナイ、休憩シテ待ッテ居ラレルサウデスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○藤原銀次郎君 宜シウゴザイマス

○森賢吾君 大體私ハ個人トシテ農林省方面ニ對シテ先程要旨ヲ伺ヒマシタケレドモ、只今藤原サンノ質問ニ對シテ、尙ホ私ハ質問シナケレバナラヌト云フ理窟ガ起ッテ來タノデ、簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、只今政府委員ノ説明ニ依リマスルト云フト、色ミ豫算關係カラ施業案ニ依ッテヤルト云フコトデ、如何ニモ答辯トシテハ宜イヤウデアルガ、其實際ニ能ク立入ッテ考ヘテ見マスト云フト、政府ノ年々收入ニ赤字ヲ生ズルト云フノデ、赤字ニ重キヲ置イテ、此施業案ト云フモノニ向ッテ山林經營ヲヤッタヤウニ我ミハ見エル、年々歳々是ハ民間ノ當業者カラ請願ガ出マシテ、私共ハ會テ政務委員會ニ於テモ此事ヲ政府當局ニ伺ヒマシタコトガアリマスルガ、薪炭ノ……木炭ノ今全國デ使用スル額ノ三分ノ一ハ官林カラ伐リ出ス、國有林カラ伐リ出ス、

斯ウ云フ答辯デアル、而シテ物價ノ上ニ於テハ四割何分ト云フモノノ下落ヲシタノ

ニモ拘ラズ、前同ト比較シテ一千万圓以上ノ收入ガ増シテ居ルト私ハ記憶シテ居リマス、サウスルト民間ノ事情ナシテ云フモノモ構ハズニ驀地ニ此收入ヲ増シ赤字ヲ填補スル、斯ウ云フコトニ重點ヲ置イタヤウニ考ヘルノデアリマス、全國ノ使用額ノ三分

ノ一ヲ政府ノ國有林カラ伐リ出シタナラバ民業ヲ壓迫スルト云フコトハ明ナ事實デアナル、サウ云フコトデ年々歳々請願ナリ色ミナ方面ニ於テ民間カラ懇ヘテ出テ來テ居ルケレドモ、政府ハ餘リ顧ミナカッタ、サウ云フコトガ重ナリ重ナッテ此農村ノ窮乏ト云フモノヲ來シタノデアアル、私ハ寧ロ大臣ヨリモ是ハ事務官ニ能ク其點ノコトヲ承知シテ戴イテ、サウシテ大臣ト云フモノハ直キニ更ハッテシマフ、多クハ官判ニ過ギナイ、寧ロ事務官ノ人ニハ能クサウ云フ民間ノ事情ヲ詳細ニ承知シテ戴イテ、サウシテ案ヲ作ル時分ニ斯ウ云フコトデアルト云フヤウニ私ハ御願ヲシタイ、事務官ノ人ノ方ガ寧ロ案ヲ作ル原動力ナルモノデアアル、大臣ヤ局長ハ官判ニ過ギナイ、斯ウ云フヤウニ私ハ承知シテ居ル、ソコデ事務官ノ人ニ能ク此民間ノ事情ヲ承知シテ貰ッテ、サウ云フヤ

ウナコトガアッたらバ民間ニ同情シテ、サウシテ上官ニ、唯收入ヲ増シ赤字ヲ埋メルト云フヤウナモノニばかり重點ヲ置カズシテヤッテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ希望スル次第デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ次ニ徳川侯爵

○侯爵徳川義親君 私ハ此「ミルク」ノ關稅ニ付テチヨット伺ヒタイト思ヒマス、「コンデンスミルク」ノコトニ付テ課稅サレルコトハ此本邦ノ酪農業ヲ保護スル上ニ於テ大變結構ナコトト思ヒマス、現在ハ靜岡ノ三島町デ大分酪農業ガ發達イタシテ參リマシタ、又北海道デモ酪農業ガ大變發達イタシテ參リマシタガ、此酪農業ト云フモノハ時ニ依ルト北海道ソレカラ内地トノ利害相反スルヤウナコトニナリハシナイカ、此統制ヲ農林省ハドウ云フヤウニシテ執ッテ居ラレルノカ、或ハ農林省ノ北海道廳ノ拓殖計畫ト云フモノガドウ云フヤウナ關係ニナッテ居リマスカ、ソレガ一ツ伺ッテ見タイト思フ點デアリマス、ソレカラモウ一ツハ、昨年大分ニ此乳價ノ問題カラ「ネッスル」會社ガ日本ニ進出シテ來ルトカ來ナイトカ問題ガ大分喧マシクナッテ參リマシタガ、此關稅ヲ上ゲタ結果、一時的ニハ酪農業ヲ保護ス

ル形ニナッテ居リマスガ、其結果トシテ「ネッスル」會社ガ又再ビ日本ニ手ヲ伸バシテ來ルヤウナコトハナイノデアリマセウカ、又假ニ其問題カラシテ日本ノ酪農業ガ前年ノ機寸ノ問題ト同ジ様ニ、外國ノ資本ニ依ッテ統制サレルヤウナ惧レハナイノカ、若シサウナルト折角此關稅ニ依ッテ保護サレタ

日本ノ酪農業者ガ再び非常ナ脅威ヲ受ケナケレバナラス、若シサウデアッたらバ、折角保護ノ積リデヤッタ事ガ逆ナ結果ニナリハシナイカ、此邊ニ付テ農林省ハドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ルノデアリマス、御考ヲ伺ッテ見タイモノデアリマス

○政府委員(村上龍太郎君) 只今侯爵カラノ御尋ノ第一點デアリマスルガ、無論内地ノ酪農業、北海道ノ酪農業共ニ共通ノ利害ノ下ニ立ツモノデアリマスカラ、色ミナ計畫ヲ立テマスルニ際シマシテモ、北海道ノ方ハ是ハ内務省所管ノ拓殖計畫デアリマスケレドモ、雙方ノ間ニ於キマシテ能ク協議ヲ致シテヤッテ居ルヤウナ次第デアリマス、併ナガラ色ミナ事情ノ變化ニ伴ヒマシテ、農家ガ折角丹青ヲ致シマシテ造リマシタ乳モ、安ク賣リ放スノ已ムナキ事情ニ立至ッタヤウナ場合モゴザイマス、ソレラノ善後處置ニ關シマシテ、色ミ北海道廳ニ於テモ苦心

ヲ致サレ、又農林省ニ於キマシテモ煉乳業者及農家等ノ間ニ立ッテ雙方ノ共同ノ利益ヲ進メルヤウニ骨ヲ折ッテ苦心ヲ致シテ居ル次第デアリマス、デ本年ニ至リマシテ御承知ノヤウニ日本ノ乳ノ大部分ハ是ハ北海道生産サレテ居ル、煉乳モサウデアリマス、北海道ニ於キマシテハ原料品ノ供給ノ問題及ビ此乳カラ製造イタシマスル煉乳「バタ」ナドノ生産分野ノ問題ナドニ付キマシテ、農家ノ側ノ團體ト、煉乳ヲ製造スル方ノ側トノ協定ガ出來マシテ、原則ト致シマシテ「バタ」ハ此農家ノ側ノ團體デ造ル、ソレカラ煉乳會社ハ其團體カラ乳ノ供給ヲ受ケルト云フ風ナ話合ガツキマシテ今日進ンデ居ル次第デアリマス、第二點ノ關稅ヲ引上ゲテ折角保護ヲ致シテモ、其處ヘ外國ノ會社ノ資本ガ侵入シテ參リマシテ、日本ノ煉乳製造業ヲ獨占シテシマウト云フ風ナ情勢ガ起ルト云フコトニ相成リマスレバ、折角保護イタシマシテモ其甲斐ガナイコトニナル、デアリマスルカラ關稅ノ保護ノ事ヲ考ヘルト同時ニ、日本ノ酪農業ノ永久ノ利益ト云フコトニ付キマシテモ十分考慮ヲ致シタノデアリマス、此只今御話ノ「ネッスル」會社ノ問題ハ、是ハ北海道ニ於テ起リマシタ問題デアリマシテ、北海道長官モ御見

エニナッテ居リマスルカラ、詳シイ事情成行等ハ北海道長官カラ御話願フノガ適當カト思ヒマスルケレドモ、農林省ト致シマシテ「一應見込ヲ申上ゲマスレバ、御承知ノヤウニ「ネッスル」會社ノ問題ハ色ミナ迂曲折ヲ經テ參ッテ居リマス、事ノ起リハ數年前カラ合同ノ問題ノ決裂、或ハ此原料組合等ノ握手ノ問題等色ミアリマシタガ、先程申上ゲマシタヤウニ農家側ノ統制ガ次第ニツイテ參リマシタノト、煉乳會社ニ對シマスル原料乳供給ノ問題等ニ付キマシテ、本年ニ至リマシテ著シク事情ガ變ハッテ參リマシテ、又多年外國ニ於ケル事情等モ多少變ハッテ來テ居ルカニ思ッテ居リマスルノデ、此問題ハ現在停頓ノ狀態ニ在ルヤウニ私共ハ見テ居ルノデアリマス、併ナガラ將來ノ問題ト致シマシテ再ビ左様ナ問題ガ再燃イタシマスルト云フコトニナリマスレバ、我々絶エズ注意ヲ怠リマセズ、日本ノ酪農業ノ永久ノ利益ヲ確保スルヤウニ十分注意ヲ致ス積リデ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵井上匡四郎君 鐵ノコトニ付テ御伺イタシマス、昨日ノ私ノ質問ニ對シテ矢張政府委員カラ御答デアリマシタカラ、其問題ノ引續キト致シマシテ矢張り政府委員カラ御答辯ヲ得テ差支ナイノデアリマス、昨日私ハ此鉄鐵保護ノ法律案ガ果シテ其目的ヲ達シ得ルヤ否ヤ、即チ之ニ依ッテ内地鉄鐵ノ需要ヲ増進スルコトガ出來ルカドウカト云フコトノ疑ヲ持ッテ御尋ヲシタノデアリマスルガ、ソレハ昨日既ニ述ベマシタ如ク昭和六年度ニ於キマシテ屑鐵ノ輸入ガ、今回防止セントスル印度鉄鐵ノ十五萬噸ノ丁度倍ニ達スル三十萬噸ノ屑鐵ノ輸入ト云フモノガアルノデアリマシテ、是ハ申ス迄モナク製鋼ノ材料トシテ使用サレテ居ルノデアリマス、其他内地產ノ屑鐵ガドノ位アリマスカ私統計ヲ明ニ致シマセヌガ、相當ノ量ガ製鋼ノ材料トシテ使ハレテ居ルモノト考ヘマス、此事實ハ製鋼業者ガ如何ニ屑鐵ト云フモノヲ希望スルカト云フコトヲヨク表ハシテ居ルノデアリマシテ、昨年印度鉄鐵ガ現行ノ稅率ヲ以テ安ク輸入セラレテ居ッタ時デサヘ、其倍以上ノ屑鐵ガ製鋼業ノ上ニ使ハレテ居ルト云フ狀況デアッタノデアリマス、將來矢張り此印度鉄鐵ノ關稅ニ依ッテ輸入ヲ防止シ得タトシテモ、屑鐵ガ無稅デアアル以上ハ屑鐵ノ輸入ガ殖エテ、内地ノ鉄鐵ノ製鋼ノ方ニ向フ量ハサウ増サナイノデハナイカト云フ意味ヲ以テ御尋ヲ致シタノデアリマスガ、ソレニ對スル政府委員ノ御答辯ハ爲替ノ關係ニ於テ屑鐵ノ値段ガ

段々騰貴シテ參リマシタカラ、其爲替關係ニ於テ屑鐵ノ輸入ハ自然ト防止セラレルデアラウト云フ御答デアッタ、ソレニ付テ私ハ政府カラ屑鐵輸入價格ト云フモノノ表ヲ頂戴イタシタノデアリマス、此數字ヲ信用イタシマシテ、此數字ニ付テ見マシテモ、私ハ誠ニ其感ヲ強ウ致スノデアリマス、昨日政府委員ハ製鋼ノ材料トナリ得ル屑鐵ト云フヤウナ語調ヲ以テ御答ニナッタノデアリマスガ、製鋼ノ材料ト致シマシテハ屑鐵ノ方ガ製鋼業者ハ鉄鐵ヨリモヨリ以上希望スル材料デアルト云フコトヲ私共場合ニ申述ベテ置イタノデアリマス、其意味ニ於キマシテ此屑鐵ノ輸入價格ト云フモノト、政府ノ御提出ニナッテ居リマス此製鉄費ト云フモノトヲ比較シテ見マスルト云フト、所謂製鉄費ノ三十五圓六十五錢ノ内必要止ムヲ得ザル費用トシテ計上サレテ居リマスル所ノ原料費、製造費及間接費ト云フモノガ二十八圓ト計上シテアルノデアリマシテ、此屑鐵輸入價格ノ中デ僅カ四圓ガ此値段ヲ超過シテ居ルノミ、其他ハ皆鉄鐵ノ値段ヨリモ相當安イ輸入價格ヲ持ッテ居ルノデアリマス、大體ノ傾向ヲ見マスルト云フト此屑鐵ノ主ナ輸出先ハ亞米利加デアラウト思ヒマスガ、亞米利加ノ屑鐵ノ値段ヲ茲ニ

調ベテ見マス、矢張低下スル傾向ヲ持ツテ居リマス、今日ト丁度一年前ノ今日ト比較イタシマス、屑鐵ハ二割五分ニ近イ値段ノ低落ヲ見テ居ルノデアリマシテ、此價格ト云フモノハ矢張り將來モ日本ノ爲替ガ是以上非常ニ暴落スルニ非ザレバ此値段ハ防止シ得ラレモノト考ヘルノデアリマス、サウ致シマス、云フト、幸ニシテ今度ノ關稅ニ於テ、印度ノ銑鐵ト云フモノガ防止シ得タト致シマシテモ、矢張り私ハ製鋼業者ハ屑鐵ヲ希望スル、屑鐵ノ輸入ヲ圖ルデアラウ、此如何ニ屑鐵ノ輸入ヲ希望スルカト云フコトハ前申上ゲマス、通リ印度銑鐵ガ安ク這入ッテ市價ヲ甚ダ攪亂シテ安ク賣ッテ居リマシタ其時代ニ於テサヘモ、ソレニ倍以上ノ屑鐵ガ這入ルト云フ状態デアアルノデアリマス、將來ニ於テモ此事情ハ益々繼續イタシマシテ、案ノ目的デアアル所ノ内地銑鐵ガ製鋼ノ方ニ消費サレテ行クト云フ目的ヲ達セラレナイノデハナイカ、此製鋼業者ノ上ニ屑鐵ト云フモノハ是ハ決シテ輕視スルコトノ出來ナイ材料デアアルノデアリマス、稍、餘談ニ互リマス、此銑石ト云フモノト屑鐵ト云フモノハ製鐵ノ上ニドウシテモ輕視スルコトノ出來ナイモノデアリマス、如何ニ製鐵

界デ此屑鐵ト云フモノヲ重ク見テ居ルカトト云フコトノ一ツノ説トシテ、茲ニチヨット述ベテ見タイト思ヒマス、學者間ニ於テ此世界ノ銑石ガ將來製鐵業ノ上ニ盡キテシマッテ、社會文化ノ上ニ將來非常ナ困難ヲ來スノデハナイカト云フ議論ガアリマシテ、之ヲ學者ノ間ニ論ゼラレタコトガアルノデアリマス、斯ウ云フモノハ結論ニハ到底到達シ得ル問題デハナイノデアリマス、其中ノ有力ナ議論ト致シマシテハ、社會ノ文化ノ進ムニ連レテ鐵ノ需要ハ相當ニ増スト云フコトハ是ハ當然ノコトデアリマス、其鐵ノ需要ニ連レテ銑石ノ需要ト云フモノハ増サナイノデアアル、併シ人間ガ作リマシタ鐵ト云フモノハ是ハ世ノ中デナクナッテシマイマス、ハ錆ビテナクナリマス、カ、船ガ沈没シテ海中ニ沈ミマシテ之ヲ再ビ取出スコトガ經濟的デナクナルト云フコト、若クハ銑山ノ爆發ニ依ッテ地面ノ下ニ深ク埋モレテシモウ、是等三ツノ原因ヨリ外考ヘルコトガ出來ナイノデアリマス、一旦人間ノ作リマシタ鐵ハ必ズ古鐵トシテ循環サレテ來ル、サウデアリマス、社會文化ガ進ミマシテ鐵ノ需要ガ進ミマシテモ、銑石直接カラ鐵ヲ作ル所ノ必要ハ今ノ如キ比例ヲ以テ進ムモノデハナイト云フヤウナ

論據カラ、人間社會ニ於テ將來鐵ノ銑石ノ缺乏ヲ來スコトハナイト云フ議論ガナカナカ有效ニ其問題ヲ支配シタト云フヤウナ状態デアリマス、此鐵屑ト云フモノハ製鐵業ニ於テ決シテ輕視スルコトノ出來ナイ重要ナ材料デアアルノデアリマス、日本デハ屢、御話ノ如ク製鐵ノ費用ト云フモノハ相當ノ程度ニ達シテ居ルト云フコトハ私ハ是ハ認メルノデアリマス、併ナガラ鋼ニナリマス、云フト、是ハ一躍シテ外國ヨリモ高イト云フコトニナル、是ハ何故デアアルカト云フト矢張り日本ヨリ文化ノ進ンデ居リマス、此屑鐵ノ市價ト此銑鐵ノ市價ノ間ニハ非常ナ開キガアル、サウデアリマス、此屑鐵ヲ利用イタシマシテ、多量ノ屑鐵ヲ利用イタシマシテ、之ヲ鋼ニ致シマス、鋼ガ安イト云フコトニナル、鐵ノ大キナル使用ハ鋼ニアルノデアリマス、日本ハ將來安イ鋼ヲ造ラナケレバナラヌト云フコトガ製鐵ノ上ノ最終ノ目的デアアル、デアリマス、ラ日本ノ製鐵業ト云フモノハ、歐米ノソレニ較ベマス、即チ割合ニ此屑鐵ト云フモノハ日本ハ少ナイ、内地產ノ屑鐵ト云フモノハ將來トモ外國ト較ベマス、少ナイト

云フコトヲ豫想シナケレバナラヌ、即チ外國ノ比較的高イ所ノ「スクラップ」ヲ輸入シテ來ナケレバナラヌト云フコトニナリマス、ラ、若シ日本ノ銑鐵ヲ製鋼ノ方ニ使ハシテ、サウシテ製鋼事業ヲ成功セシメヤウト云フ爲ニハ、外國ヨリモ特ニ安イ銑鐵ガ日本ニ於テ製造セラレルニ非ザレバ、日本ノ製鋼業ノ目的ト云フモノハ未來永劫ハ達スルコトガ出來ナイノデアラウト思フ、外國ヨリモ安イ銑鐵ガ日本ニ出來ルノデナケレバ「スクラップ」ガ高イノデアリマス、割合ニ高イノデアリマス、銑鐵ハ外國ヨリモ安クナケレバナラヌ、彼是レ考ヘテ見マス、ト云フト、此内地ニ於ケル今ノ現在ノ程度ニ發達シテ、比較的高イ原料ガ高イ、石炭ノ高イ銑石ノ高イ所ニ於テ發達シタ現在ノ程度ノ製鐵業ヲ以テ、將來之ヲ製鋼業ニ擴張メテ行ク、外國ト肩ヲ並ベテ製鋼製品ガ競争出來ルカト云フコトハ、私ハ之ヲ非常ニ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、即チ内地ノ鐵工業ト云フモノハ、將來ニ於テ之ガ發展スベキ望ミガアルモノデアアルカドウカト云フコトヲ私ハ非常ニ疑ハナケレバナラヌ、殊ニ之ガ已ムヲ得ナイコトデアレバ宜イノデアリマス、滿洲ニ於ケル鐵ト云フモノハ、内地ヨリモ著シク安イ値段ヲ以テ

製造シ得ル所ガ既ニアルノデアリマス、現在ニ於テハ滿鐵ノ銑鐵ト云フモノハ二十三圓ト四圓トカ申シマスルガ、是ハ現在ノ値段デアルガ、私ハ此銑鐵ノ値段ハモット著シク低下シ得ルモノデアルト思フノデアリマス、滿洲ノ作業ト云フモノハ是ハ比較的裕福ナ状態ニ於テ作業シテ居ル、非常ナ之ガ緊縮ヲイタシマシテ作業イタシマシタナラバ、一段ト此製造費ヲ低下スル十分餘裕ヲ持ツタ工業デアアルノデアリマス、矢張り鐵ノ將來ト云フモノハ、是ハ殊ニ滿洲ノ現在ノヤウナ事情ニ於キマシテハ……又ソレデナケレバ將來鋼ノ材料ヲ安ク作ルト云フコトハ、到底是ハ不可能ナコトヲ望ミツツアルノデハナイカ、早く政府トシテハ是等ノ大體ノ方針、或ハ國策ト申シマスルカ、ソレニ付テ御決定ニナリマセスト云フト、恰モ現在ノ炭坑業ト同等ナ、同ジヤウナ状態ニ製銑業ガ向フノデナイカト思フ、マダ内地ノ製銑業ノ發達ト云フモノハ、其量ニ於テモ非常ニ著シイモノトハ考ヘラレナイノデ、將來モット日本ハ多量ノ銑鐵ヲ作ラナケレバナラナイノデアリマス、然ルニ之以上内地ノ銑鐵業ガ規模ガ大キクナリマシタ場合ニ於キマシテハ、將來ニ於テ、此國策……或ハ滿洲ニ於テ作ル方ガ日本ノ國策トシテ	有利デアルト云フヤウナ問題ガ決定サレマシタ場合ニ於テ、炭坑デ申シマスルコト云フト、若シ内地ノ炭業者ノ利益ヲ度外イタシマスルナラバ、現在ニ於テハ滿洲カラ炭ヲ持ッテ來ル方ガ國民ノ福祉ヲ増進スル目的デアルト云フコトハ、是ハ論ヲ俟タヌト思ヒマス、政府ノオ調ニ依ルト、マア滿洲カラ炭ヲ持ッテ來テモ、内地ノ炭ト同ジヤウニ九圓二十七錢五厘ニナルノダト云フヤウナオ調デアリマスルガ、是ハ數字ノ上ノ値段デアリマシテ、ソレヨリズツト安ク炭ガ來ルノデアリマス、若シ同ジ値段デアルナラバ、何モ日本ノ炭坑業者ガ撫順ノ炭ノ入ルコトヲ非常ニ脅威ニ感ズル理由ハ少シモナイノデアル、是ハ日本ノ炭坑業ト云フモノガ相當發達シテ居リマスルカラ、現在ニ於テハ此方ガ、國民一般ニ於テハ利益デアルト云フコトハ分ッテ居リマシテモ、相當ノ炭坑業ト云フモノニ投資ガアリマスル關係カラ、斷然タル政策ヲ玆ニ行フコトガ非常ナ困難ナ事情ニ到達シテ居ル、幸ニシテ製銑業ト云フモノハ、マダソレホド發達シテ居ラナイ、マダ初步ノ時代ニアルノデアリマス、此主モナ關係者ト云ヒマシテモ、二會社ニ殆ド限ラレテ、他ノ一會社ト云フモノハマダ微々タルモノデアアル、デアリマスカラ、	現在ニ於テ此問題ヲ解決イタシマススト云フコトハ、マダ時期ガサウ遅クナイト私ハ思フノデアリマシテ、早く内地工業ノ投資ガ餘リ多額ニ達シマセヌ間ニ於テ、此問題ヲ政府トシテ、國ト致シマシテハ早く解決イタシマセスト云フト、將來大ナル禍ヲ殘スモノデアルト云フ憂ヘヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、之ニ付テオ考ヲ一應承ハリタイト思ヒマス ○政府委員(福田庸雄君) オ答ヘ申上ゲマス、「スクラップ」ノ問題ニ付テノ御意見ニハ、誠ニ御尤ナ點モアルト存ジマスガ、昨日モ御答辯申上ゲマシタ通り、今日ニ於ケル「スクラップ」ノ供給ニハ自ラ限度ガアリマスノデ、印度ノ銑ガ輸入サレナクナツタ場合ニ於テ、直ニ「スクラップ」ヲ以テ全部之ニ代ヘルト云フヤウナコトハ困難ヂヤナイカ、從ッテ印度銑ノ輸入防遏ハ製鋼業ニ使用サレル銑鐵ノ需用ヲモ確實ニ増加スルモノダト私共ハ考ヘテ居リマス、殊ニ此内地ノ製銑業者ト製鋼業者トノ間ニ連絡ヲ取リマシテ、成ルベク内地ノ銑鐵ヲ使ハセルト、斯ウ云フ方針ニ益進ミタイト思フノデゴザイマスカラ、此印度銑ノ輸入防遏ハ製鋼用、銑鐵ノ需用ニモ大イニ效果ガアルト考ヘテ居リマス、昨年ノヤウニ屑鐵ガ非	常ニ安ク手ニ入りマシタ場合ニハ、屑鐵ノ銅塊製造ノ配合歩合モ相當増加イタシマシタノデアリマスガ、昨日モ申上ゲマシタ通り、屑鐵ノ輸入價格モ相當騰貴シテ參リマシタノデ、又一方銑鐵ノ市價ト云フモノハ、是モ亦昨日來續々申上ゲマシテ居ル通り、ソレホド騰貴ハ致サナイト思フノデゴザイマスカラ、サホド今後ニ於テ屑鐵ノ需用ヲ銑鐵ニ代ッテ新ニ廣ク發揮スルト云フホドノコトハアルマイ、從ッテ此關稅ハ製鋼用銑鐵ノ保護ニモ十分役立ツ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、又昨日來色ニ申上ゲマシタヤウニ、内地ノ「ストック」デ六十萬噸モアル、此上印度ノ銑鐵ノ輸入ヲ許シマススト云フコトニナリマスレバ、益々滯貨ハ増加シ、或ハ内地ノ生産ヲ減サナケレバナラス、斯ノ如キコトハ今日ノ製鐵界ノ現狀カラ申シマシテ、誠ニ憂慮ニ堪ヘナイ次第デゴザイマスカラ、取敢ズ一刻モ早く、此印度ノ銑鐵ノ輸入ダケハ止メタイ、斯ウ云フ考ヘカラ致シマシテ急速提案イタシタノデゴザイマシマスガ、併シ此關稅問題ナルモノハ御承知ノ通り、モウ數年來ノ懸案デゴザイマシテ、研究ニ研究ヲ盡シタ結果デゴザイマスノデ相當嚴密ニ檢討サレタ材料デアルト云フコトヲ併セテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、又
---	---	---	--

滿洲ノ鉄鐵ニ關スル御意見デゴザイマス
ガ、御話ノ通り滿洲地元ニ於キマシテハ内
地ノ相場ヨリモ今日ニ於キマシテモ、多少
生産費ガ安イノデゴザイマスガ、運賃其他
ヲ加算イタシマスレバ矢張り内地ノ鉄鐵ト
同様ナ條件ニナッテ居ルノデゴザイマス、又

デ詰リ國際的ニ十分競争ガ出來ル値段デ鉄
鐵ノ供給ハ出來得ルト、斯ウ云フ風ニ確信
シテ居リマスノデ、内地ノ鉄鐵ノ保護ト云
フコトモ、勿論製鐵國策ノ全體カラ見テ矢
張り必要デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ
居リマス

○子爵井上匡四郎君 只今御答辯ノアツタ

日本ノ鉄鐵ノ供給資源ヲ滿鐵ダケニ頼ルト
云フコトハ國際上其他ノ不安ガアルバカリ
デナク又日本人ノ失業ノ問題カラ申シマシ
テモ、是ハ考慮ヲ要スル問題デハナイカト
思ヒマス、加之副産物ノ回收、副産物ノ利
用、サウ云フ關係カラ申シマシテモ、内地
ニ於テ、或ル程度ノ生産ヲスルト云フコト
ガ非常ナ必要ナコトデハナイカ、要スルニ
内地ト滿洲ト相倚リ相俟ッテ、所謂自給自足
ノ目的ヲ達スルト云フコトニ目標ヲ置クベ
キデハナイカト私共ハ考ヘテ居リマス、ソ
レカラ内地ノ生産費ノコトデゴザイマス
ガ、是ハ將來徹底的ニ整理合理化ヲ致シマ
シテ、所謂一貫作業ト云フヤウナ方面ヲ更
ニ理想化シ、又鑄鐵爐ノ如キモ需要ノ増加
ニ伴ヒマシテ、更ニ大規模ノ物ヲ設ケマシ
テ、理想ニ近イ生産ヲヤル、或ハ積込ミ積
卸シノ設備、其他ノ諸費用モ出來ルダケ合
理化シ理想的ニスル、斯ウ云フ諸般ノ設備
ガ完成イタシマスレバ、相當ニ安イ生産費

範圍ニ付キマシテハ私トシテハ違ッタ考モ
アリマスガ、其點ハソレデ宜シイノデアリ
マスガ、私ノ御問ヒ致シマシタ詰リ製鐵ノ
最終ノ目的ハ鋼ヲ安ク造ル點ニアルノデア
リマス、世ノ中ノ需要ハ鋼ヲ多ク需要イタ
シマスノデ、鋼ヲ安クシナケレバナラナイ
ト云フコトガ製鐵事業ノ最終ノ目的デア
ルノデアリマシテ、亞米利加ノ例ニ採リマス
ト、亞米利加ハ「ビッグ」鉄鐵ハ割合ニ高イ
ノデアリマスガ、鋼ニナリマスト非常ニ安
クナリマス、ソレハナゼ安クナルカト云フ
ト、屑鐵ガ非常ニ安イノデアリマス、此
處ニ相場表ガアリマスガ、殆ド最近ノ是ハ
確カナ數字デアリマスガ、最近ノ五月十七
日ノ亞米利加ノ公定「ビッグ」相場ト云フ
モノガ十四弗六仙デアリマシテ「スクラッ
プ」ノ値段ハ七弗四十一仙ト云フヤウニ「ス
クラッ」ハ非常ニ安イノデアリマス、政府
カラ頂戴イタシマシタ亞米利加ノ値段ハ十

五弗ト云フモノヲ此表デ頂戴イタシマシタ
ガ、ソコニ一弗ノ確カニ差ガアルノデアリ
マス、五月十二日ノ現在調デゴザイマス
ガ、今年ニナリマシテカラ亞米利加ノ公定
相場ノ鉄鐵ガ十五弗デアツタコトハ一回モデ
イノデアリマス、此表デ確カデアリマス、
ソレハ餘談デアリマスガ、サウ云フ安イ此
「スクラッ」ガアリマスル爲ニ、鋼ハ亞米利加

得タト云フコトニ依テ、日本ノ製鋼業ガ之
ニ依ッテ成功シ得ト云フコトヲ御考ニナリ
マスルカドウデアリマスルカ、其點ニ付テ
御答ヲ願ヒマス

○政府委員(福田庸雄君) 御答申上ゲマス、

無論政府ノ考ト致シマシテモ、此鉄鐵ガ成
ルベク安ク供給サレルコトガ、製鋼鐵業ハ勿
論ノコトデアリマスガ、一般ノ工業ニ付テ
モ極メテ必要デアルト云フコトハ考ヘテ居
リマス、從ヒマシテ成ルベク鋼材ノ生産
費ヲ低下イタシマス爲ニ、所謂一貫作業ノ
獎勵、其他合理化施設ノ改善ニハ全力ヲ盡
シテ居ル次第デゴザイマスガ、尙ホ今後ニ
於キマシテモ此方針ヲ一貫イタシマシテ、
更ニ生産ノ合理化ヲ圖ッテ、生産費ノ低下
ニ極力努メネバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス、唯然ラバ日本ノ製鐵業ヲ潰シ
テ安イ印度鉄、或ハ是ハ「スクラッ」ハ安ク
來ナイト思ヒマスケレドモ、若シサウ云フ
時代ガ想像サレルカドウカ知リマセヌガ、
少クトモ現今ノ狀態ニ於キマシテ、「スク
ラッ」ハ遺憾ナガラ只今御話ノヤウニ運賃
ノ關係其他デサウ安ク手ニ入りマセヌシ、
假ニ其場合ニ安イ印度鉄ヲ使ッテ、製鋼業ヲ
振作スルト云フコトガ宜イデヤナイカト云
フヤウナ考モ一部ニハアルヤニ存ジテ居リ

マスルガ、製鐵業ガ唯外國ノ直段マデ下ゲ

マスカ、若シ日本ノ鉄鐵業ガ衰ヘマシテ、サウシテ印度鉄ガドンドレ這入ッテ來ルト云フコトニナリマスレバ、昨日來續々申上ゲテ居リマス通り、又印度鉄ハ高イ値段ヲ以テ日本市場ヲ支配スル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、ドウシテモ日本ノ製鐵ノ事業ハ、相當之ヲ保護シテ置イテ、印度鉄ニ對抗サセルコトガ却ッテ適當ナ直段ヲ製鐵業者ニ對シテ提供スル、製鐵業者若クハ其他鑄物業者或ハ其他ノ鐵使用者ニ對シテ安イ値段デ鉄鐵ノ供給ガ出來ルト云フコトガ不可能ニナリハシナイカ、詰リ日本ノ製鐵業ヲ十分ニ發達サセル、斯ウ云フコトガ日本ノ鉄鐵ノ値段ヲ安クセシムルニ最モ必要ナ條件デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

昨日農林大臣ノ御答辯モ承ッテ居リマスガ、衆議院ハ附帶ノ決議ヲシテ委員會ニ提出スルト云フコトニナッテ居リマスガ、拓務省ハ之ヲ御認メニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(北島謙次郎君) 南洋材ニ付キマシテハ昨日農林大臣カラ政府ニ於テ十分考究中ダト云フ意味ノ御答辯ガアッタト記憶シテ居リマスガ、矢張り拓務省ト致シマシテモ同様ニ考ヘテ居リマス

○北村宗四郎君 急ニ次ノ議會ニデモ出ス御考ヘハナイノデアリマスカ、是ハ非常ナ内地林業ニ携ハル者ノ大イナル問題デゴザイマスカラ……

○政府委員(北島謙次郎君) 政府ニ於テ目下出スカ出サナイカト云フコトヲ考究中デアリマシテ、從ッテ次ノ議會ニ出スカドウカト云フコトモ、チヨット此際確タル御返事ハ致シ兼ねル次第デアリマス

○男爵斯波忠三郎君 單簡ナ質問デアリマスカラ……今ノ御話トハ違ヒマスカ、先程井上子爵ノ質問ニ對シテ政府委員カラノ御答辯中ニ、國防上必要デアルカラ内地ニ是非製鐵業ヲ完備シナケレバナラヌト云フヤウニ承ッタノデアリマス、昨日モ陸軍大臣カラ承ラウト思ッテ居リマシタガ、陸軍大臣ガ御退席ニ

ナリマシテ御伺ヒスル機會ガナカッタデスカ、國防ノ關係上内地デナケレバナラヌヤウニ承知シテ居ラレルノデアリマスト云フト、我々ノ考ヘト餘程距離ガアル、現今、殊ニ時局以來ノ趨勢カラ考ヘテ見マシテ、何モ内地ニ局限シナケレバナラヌコトモナイト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居リマスガ、是ハ意見ノ相違デアリマス、私ハ其點ヲ明カニシテ置キタイ、陸軍大臣ハ昨日内地ノ産業ヲ助ケル爲ニ犧牲ハ少シ位ハ構ハヌト云フヤウニ御答ニナッテ居ルヤウニ考ヘテ居リマスガ、速記ヲ讀ム暇ガゴザイマセヌカラ、シッカリシタコトハ申上ガ兼ねマスカ、只今鑛山局長ノ御話ノ中ニモ、内地ニ是非國防上必要デアルト云フ風ニ承ッテ居ル、其點ハ論議スル譯デアリマセヌケレドモ、確メテ置キマス

○政府委員(福田庸雄君) 御答ヘ申シマス、私共ノ自給自足ト申シマスノハ、少クトモ鉄鐵ニ付キマシテハ、滿洲朝鮮ヲ含シテ根柢ノ下ニ於テ自給自足ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、内地ダケデ作ラナケレバナラヌト云フ譯デアリマセヌ、併シ諸般ノ關係カラ致シマシテ内地ニ於キマシテモ相當ノ設備生産ガアルト云フコトガ宜シクハナイカ、滿洲ダケニ頼ルノハマダ實際上モ無

理デアルシ、又内地ノ今日發達シテ居リマス製鐵工場ノ現状カラ考ヘマシテモ、之ヲ合理化シマスレバ相當立派ナ製鐵工場トシテノ實ヲ擧ゲ得ルト、斯ウ云フコトニ信ジテ居リマス、滿洲ヲ決シテ除外スル譯デヤゴザイマセヌ、内地ト滿洲ト相依リ相俟ッテ自給自足ノ實ヲ擧ゲタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ從來ノ諸施設モソレヲ前提トシテ致サレテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアラウト思フノデアリマス、決シテ内地ダケニ限ルト斯ウ申上ガタ意味デヤゴザイマセヌ

○田村新吉君 時間モ過ギテ居リマシテ、午後モアリマスカラ、或ハ其時ヨリ今質問ヲ濟マシテ置イタ方が宜イト思ヒマス、本改正關稅定率案中自動車及其他ノモノニ付キマシテ、組立テラレタル製品ト部分品トノ課稅率、過日説明ヲ承リマシタ時ニ、製品ト部分品トヲ同率ニシタト云フコトデアリマシタガ、ソレハサウ云フコトデアリマセウカ

○政府委員(竹内可吉君) 部分品ニ只今課シテ居リマスル稅率ヲ完成車ト同ジ率ニシタ、斯ウ云フコトデゴザイマス

○田村新吉君 例ヘバ自動車トシマシテ組立テラレタ所ノ完成シタル其モノニ對スル

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 拓務省ハ見エテ居リマス

○北村宗四郎君 チヨット單簡デゴザイマスカラ……南洋ノ「ラワン」材ニ付キマシテ、

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御質問ゴザイマスカ

○北村宗四郎君 拓務省ハ御出デスカ

稅率ヲ部分品ニオ課ケニナルノデアリマセヌカ、今仰シヤッタノハサウヂヤアリマセヌカ、逆ヂヤアリマセヌカ

○政府委員(竹内可吉君) 完成車ニ對スル稅率ニハ變更ハナイノデアリマス、部分品ニ對スル只今定テ居リマスル稅率ヲ變更シテ、其實質ヲ完成車ニ對スルモノト同ジ率ニ致シタノデアリマス

○田村新吉君 部分品ノ稅率ガ高クナッタト云フ譯デスネ

○政府委員(竹内可吉君) 左様デゴザイマス

○田村新吉君 此關稅定率ニ於キマシテ、製品ト未製品ト原料品トノ間ニ稅率ノ差ノアルト云フコトハ各國殆ド同一デアリマス、而シテ其差額ハ内地ノ工業ヲ保護スル爲ニ多ク設ケラレテ居ル、製品ニ對スル輸入稅ト部分品ニ對スル輸入稅ト同ジデアル、或ハ其差ガ極メテ些少デアルト云フ場合ニ於キマシテハ輸入ノ獎勵ニナルノデアリマス、製品ノ輸入ノ獎勵ニナルノデアリマス、即チ日本ニ於キマシテハ輸入ヲ増加スルト云フコトニナルト思フノデアリマス、且ソレハ延イテ内地ニ於ケル組立工業ヲ壓迫スルコトニナルト思ヒマス、尙ホ其結果ハ失業者ヲ増加スルト云フコトニナルノデアリ

マス、今日ノ如キ失業問題ノヤカマシキ時ニ於キマシテ、尙ホ敢テ部分品ニ對スル稅率ヲ高率ニ致サレト云フ、斯ノ如キ改正ヲ敢テナサムトセラルル理由ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(竹内可吉君) 完製品ト其部分品トノ稅率ニ相當ノ開キヲ置キマシテ、其國ノ工業ノ發達ヲ圖ル、是ハ各國デ行ッテ居ル大體ノ先ヅ一般ノ方針デハナイカト云フ出發カラノ御議論ト拜承イタシマシタ、誠ニ私共モ左様ニ考ヘテ居リマスノデ、御尤ナ御意見ト拜聽イタシマシタ、是非サウナケレバナラヌモノト信ジテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ各製品ト其材料ニナリマスルモノトノ間ニハ、或ル程度ノ開キヲ置カレテ居ルノデアリマス、自動車ニ於キマシテモ恐ラクサウ云フヤウナ趣旨デ現行稅ガ出來テ居ルモノダラウト思ハレルノデゴザイマス、制定ノ趣旨ハ……所ガ實際ノ狀況ヲ見マスト云フト、今日完成車デ輸入サレマスルモノガ昭和六年ニ於キマシテ三百三十七万八千圓ノ輸入ガゴザイマス、然ルニ部分品トシテ輸入サレマスルモノガ一千六百六十五万四千圓ト云フ數字デアルノデゴザイマス、是ハ今日我國ノ自動車ノ輸入ノ狀況ヲ仔細ニ見マスルト、斯ノ如キ數字

ヲ現ハシテ居リマスル事情ガ極メテ明瞭ニナルノデゴザイマスルガ、ソレハ御話ノ如クニ完成シマシタモノニ對シマシテ、今日一割ダケ高イ稅ヲ課シテ居リマス、從ヒマシテ我國完成車ノ輸入ヲ多少困難ニ致シマスレバ、我國ニ於キマシテ、此部分品ノ工業ガ起ルト云フコトガ想像サレルノデアリマスルケレドモ、事實ハ全ク之ニ反シマシテ、外國カラ此組立材料トシテ部分品ガ殆ドマア大部分這入ッテ來ルノデアリマス、サウシマシテ内地ヘ入レマシテ極ク簡單ナ、人手モ餘リ要シナイ、又經費モ餘リ要シナイヤウナ仕組ミデ、即チ所謂組立工場ト云フモノガ出來マシテ、部分品トシテ這入ッテ來ルコトニナッテ居ルノデゴザイマス、其結果我國ノ、只今御質問モアリマシタノデアリマスガ、我國ニ於キマシテ部分品工業ヲ起サウト云フ趣旨ニ全ク反シタ結果ヲ來シテ居ルノデアリマス、言葉ヲ換ヘマスレバ、此稅率ノ差ガアリマスルト云フコトガ即チ部分品工業ノ發達ヲ阻害イタシテ居ルノデゴザイマス、斯ウ云フ趣旨カラ致シマシテ、自動車ニ付キマシテハ此稅率ヲ差別ヲ設ケテ居リマスルコトガ非常ニ支障ヲ來シテ居ルト、斯様ニマア實情ヲ私共ハ見テ居ルノデゴザイマス

○田村新吉君 自動車ニ對シマスル、即チ完成セラレタル自動車ニ對シマスル稅率ハ幾ラデアリマスカ

○政府委員(竹内可吉君) 國定稅率ノ外ニ佛蘭西トノ間ニ協定ガゴザイマシテ、是ハ御案内ノ如ク歩合協定ニナッテ居リマス、其結果現實ニ於キマシテ、只今ノ所デハ完成車ニ對シテハ三割五分、部分品ニ對シマシテハ二割五分ノ現實ノ課稅ニナッテ居リマス、ソレヲ今回部分品ニ對スル現實ニ割五分ヲ三割五分ニ致シマス爲ニ國定稅率ヲ四割ニ改正シヤウト云フノデゴザイマス

○田村新吉君 サウシマスル部分品トシテ這入ッテ居リマスモノト完成品ト同一ニナルノデゴザイマス

○政府委員(竹内可吉君) 其稅率ノ割合ガ從價ニ致シマシテ同一ニナルノデアリマス

○田村新吉君 サウスルト組立工業ト云フモノモ日本ニ於ケル工業ノ一ツデアルノデハナイデセウカ、若シサウデハナイ……イヤ確實ニサウデアルト私ハ思フノデアリマサガ、サウスルト日本ニ於ケル自動車ノ組立工業ト云フモノハ衰微シテモ宜イ、或ハサウ云フモノハナクナッテモ宜イ、斯ウ云フヤウナコトニナルカト思ヒマス、即チソレガ私人質問ノ趣意デアリマス、サウ云フコトニ

ナレバ今日ノヤウナ時ニ於テ尙ホ一層ノ失業者ヲ増加スルノデハアリマセスカ、其失業者ガ出テモ尙且之ヲ實行セヌケレバナラスト云フノニハ、何レニカ理由ガナケレバナラスト思フノデアリマスガ、只今御答ニナッタゲデハ理由ニナラスト思フノデスガ如何デセウカ

○政府委員(竹内可吉君) 御答申上ゲマス、今日我國ニゴザイマスル自動車ノ組立工場ニ付テハ十分御承知ノコトト思ヒマシテ、私ハ餘リクダムシイ説明ヲ却テ御遠慮申シ上ゲタノデアリマシタガ、少シ御説明ヲ申シ上ゲタイト思ヒマス、只今ノ御質問ノ組立工場モ矢張り一ツノ工業デナイカト云フ御話デゴザイマシテ、誠ニ御尤モデアリマシテ、私共モ、一ツノ工業デアリ、又之ニ從業イタシテ居リマス者ノ相當アルコトモ認メルノデゴザイマス、今度ノ改正ハ決シテ、之ニ依リマシテ是等ノ組立工場ヲ全滅サシテシマフ、或ハ之ニ非常ナ打撃ヲ與ヘル、或ハ之ニ急激ナ變更ヲ加ヘヤウト云フコトヲ趣旨ト致シテ居ルノデハナイノデゴザイマス、今回稅率ハ斯クノ如ク引上ニナリマスルケレドモ、今日外國カラ這入テ參リマスル所ノ部分品、其輸入價格ト云フモノハ、一臺分幾ラト云フコトガ明瞭

ニ數字ヲ以テ御示シスルコトハ出來マセヌノデアリマスルケレドモ、大體内地デ組立テマシタ車ノ賣買ト、輸入サレマシテカラ販賣サレマスル迄ノ間ノ手數料其他ノ利益ト云フヤウナモノヲ大體推定ガ出來マスルノデアリマスガ、サウ云フヤウナモノカラ考ヘマスルト云フト、相當ナ開キガアルト私共ハ實ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、又御案内ノ「フォード」トカ其他ノ多數我國ニ需要サレテ居リマスル車ノ其本國ニ於ケル市價等ヲモ參考ト致シマスルト云フト、相當ナ利益ガ其間ニアルト實ハ見テ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ今回引上ゲマシタ稅額ノ負擔ト云フモノハ、先ヅ大體ニ於キマシテ營業者即チ是等ノ外國系ノ會社ニ於キマシテ負擔ヲシ得ル程度ノモノデアリマシテ、直ニ之ニ依リマシテ御話ノ御懸念ノヤウナ心配ガ生ズルコトハナイモノト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレナラバ一體ドウ云フ趣旨カ、唯一割ノ差ノアルコトヲ嫌フテ此改正ヲシタノカト、斯ウ云フヤウナ御質問デアッタト思フノデアリマスルガ、御承知ノ如ク自動車工業ノ確立ヲ國內ニ圖リマスルコトハ極メテ重要ナコトト言ハナケレバナランノデゴザイマシテ、其方針ニ基キマシテ、先年來色々調査研究ヲ致シテ居

リマシタ結果、先ヅ第一段ノ方針ト致シマシテ、需要ノ相當總マル見込ノアリマスルモノ、即チ我國ニ於テ之ヲ稍、大量生産ニ近イモノトスルコトノ出來マスル車ノ種類ヲ選ビマシテ、サウ云フモノノ生産ノ助長計畫ヲ實ハ立テタノデゴザイマス、是等ノ方策ヲ實行スル上ニ於キマシテ、外國カラ這入テ參リマスル此部分品ガ割合ニ廉價デアリマスルト云フコトハ、此一般ノ自動車工業確立ノ根本ノ方針カラ考ヘマシテ面白クナイコトト考ヘルノデゴザイマシテ、

今回ノ引上ヲ見マシテモ已ムヲ得ナイコト見テ居ルノデゴザイマス、其結果只今日本ニゴザイマス組立工場ニ非常ナ打撃ヲ、決シテ御懸念ノヤウナ急激ナ打撃ヲ與ヘルコトハナイト云フコトハ、前段ニ申上ゲタ所ニ依リマシテ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○稻畑勝太郎君 モウ大分退席ヲサレタ方ガアルヤウデスカラ、休憩ヲ願フタラドウデスカ

○田村新吉君 私ハ意見ノ違フ所モアリマスシ、又内地工業ノ發達ト云フコトモアリマスガ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイマセウ、マダ引續イテ澤山質問ガゴザイマ

スデゴザイマセウカ……モウ大體質問ガナケレバ是デ質問終了ト致シマシテ如何デゴザイマスカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ是デ本委員會ノ質問ハ終了イタシタモノト御諒解ヲ願フテ置キタイト思ヒマス、ソレデハ今日ハ是デ休憩ヲ致シマシテ、午後ノ二時ヨリ再開イタシマス

午後三時三十分分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 午前ニ引續キマシテ委員會ヲ開會イタシマス、討議ニ移ル筈デアリマスガ、此機會ニ於テ御質問ガアル御方ハ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵井上匡四郎君 討議ニ移リマスル前ニ總理大臣ガ御出席デアラセラレマスカラ、總理大臣ニ我々案ノ賛否ヲ決定シマス資料ト致シマシテ、總理大臣ノ御意見ヲ一應承テ見タイト思フノデアリマス、我々ハ此付託セラレマシタ所ノ關稅案ヲ審議スルニ際シマシテ、最モ鐵ノ問題ニ付キマシテ紛糾ヲ致シタノデアリマス、最モ多クノ時間ガ政府トノ間ニ鐵ニ關スル質疑應答ニ於テ費サレタノデアリマス、蓋シ之ヲ考ヘマスルト云フト、從來我國ニ於テ鐵ニ對スル

午後三時三十分分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 午前ニ引續キマシテ委員會ヲ開會イタシマス、討議ニ移ル筈デアリマスガ、此機會ニ於テ御質問ガアル御方ハ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵井上匡四郎君 討議ニ移リマスル前ニ總理大臣ガ御出席デアラセラレマスカラ、總理大臣ニ我々案ノ賛否ヲ決定シマス資料ト致シマシテ、總理大臣ノ御意見ヲ一應承テ見タイト思フノデアリマス、我々ハ此付託セラレマシタ所ノ關稅案ヲ審議スルニ際シマシテ、最モ鐵ノ問題ニ付キマシテ紛糾ヲ致シタノデアリマス、最モ多クノ時間ガ政府トノ間ニ鐵ニ關スル質疑應答ニ於テ費サレタノデアリマス、蓋シ之ヲ考ヘマスルト云フト、從來我國ニ於テ鐵ニ對スル

所ノ確平タル國策ガ確定シテ居ラナカッタト云フコトニ起因スルト考ヘルノデアリマス、製鐵事業ト云フモノハ内地ノ貧弱ナル資源ヲ以チマシテハ、滿洲ノ資源ヲ除外イタシマシテハ、到底確平タル基礎ノ下ニ確立スルコトハ甚ダ困難デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、殊ニ滿洲ノ狀態ハ最近ニ至リマシテ、我國ト最モ密接ナル關係ヲ樹立スルヤウニナリマシタノデ、我々ハ共存共榮ノ趣旨ノ下ニ、彼我自然ノ有無相通ジマシテ、本邦ノ産業ニ資スルト云フコトガ目下ノ急務デアルト考ヘルノデゴザイマス、從來政府ニ於テハ屢、製鐵業ニ對スル所ノ調査研究ヲ重ネラレテ居ルノデアリマスルガ、今日ハ從來ノ研究ヲ離レマシテ、此際新規ナル情勢ノ下ニ新タニ鐵及ビ之ニ附隨スル産業ノ國策ヲ立テラレムコトヲ我々切望ニ堪ヘヌデアリマス、此件ニ付キマシテ總理大臣ノ御考ヲ承ルコトガ出來マシタナラバ、我々此關稅案ヲ審議スルニ付キマシテ、非常ニ資スル所ガ大デアラウラウト考ヘマシテ、敢テ總理大臣ノ御答辯ヲ煩スノデアリマス

○國務大臣(子爵齋藤實君) 我國ノ製鐵事業ニ付キマシテ過去色々考究セラレテ居リマスルノデアリマスルケレドモ、只今御

說ノ如ク確立シタル方針ガ未ダ發表セラレテ居ラヌト考ヘルノデアリマス、就キマシテハ我國ノ製鐵事業ハ矢張り滿洲ノ製鐵ノコトヲ除外シテハナラヌト云フ考ヲ有テテ居リマス、是ハ既ニ御承知ノ如ク計畫等モ立テラレツツアルノデアリマスカラ、此事ニ付テ確定ヲ見テ居ラヌト云フコトハ、即チ先刻申上ゲル通りデアリマスガ、今日ノ情勢ニ鑑ミマシテ政府トシテハ無論滿洲、日本、之ヲ一貫シタ産業政策ヲ、製鐵竝ニ其他ノ事デモアリマスガ、立テナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、此段ヲ明カニ御答ヘシテ置キマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌデゴザイマスカ、質問ガナケレバ討議ニ移リマス、此機會ニ於テ只今問題ニナッテ居リマスル二案ニ對シテ、御意見ノアル御方ハ御發表ヲ願ヒタイと思ヒマス
○子爵井上匡四郎君 我々ハ、我々ニ付託サレマシタ二案ヲ審議イタシマスニ付キマシテハ、連日政府トノ間ニ質疑應答ヲ續ケタノデアリマスガ、此質疑應答ノ結果ハ必ズシモ我々ノ疑問ヲ氷解シタト申スコトハ出來ナイノデアリマス、殊ニ鐵ノ問題ニ關シマシテハ、私個人ト致シマシテハ未ダ私ノ初メカラ抱イテ居ッタ疑問ヲ氷解スルニ

足リヌノデアリマス、併ナガラ此二案ノ中ニ包含サレテ居リマスル所ノ二十數項目ニ互ル品目ヲ一々審查イタシマスルト云フト、其中ニハ所謂農民救済ニ關係スル項目アリ、又中小商工業者ノ救済ニ關係スル項目ガアリ、目下ニ於テ最モ急ヲ要スル項目モ相當多數此間ニ存在シテ居ルコトヲ認メルノデアリマス、我々ハ此中ニアル數項目ニ付キマシテハ、未ダ我々ヲ満足セシムルノ

ニハ足リナイノデアリマスガ、翻テ現下ノ情勢ヲ考ヘマシテ、現内閣成立ノ事情、所謂舉國一致内閣ト致シマシテ、其成立後日尙淺ク、我々ハ此内閣ヲシテ何卒歷代ノ内閣ノ爲シ能ハザリシ正シキ明ルイ政治ヲ、此内閣ニ依ッテ遂行シテ頂キタイト云フコト

ノ熱心ナル希望ヲ有ッテ居ルノデアリマス、又殊ニ齋藤總理ガ老軀ヲ以テ此劇職ニ就カレマシタコトニ付キマシテハ、滿腔ノ我々ハ敬意ト感謝ヲ感じテ居ルノデアリマス、何卒齋藤總理ヲシテ、我々ノ長ク希望スル所ノ正シイ政治ヲ、此場合遂行シテ頂キタイト云フ所ノ切實ナル我々ハ希望ヲ有ッテ居ルノデアリマス、デ此考ノ下ニ、我々ハ此關稅案ノ中ニハ、前ニ申シマスル如ク我我ノ疑問ヲ氷解スルニ足ラヌ數項ハ有ルト云フコトハ認メマスルガ、暫ク現内閣、殊

ニ齋藤總理大臣ニ信賴イタシマシテ、此二案全部ヲ承認イタシタイト考ヘルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、我々ノ此二案ニ對スル所ノ意思ヲ表示イタシマス爲ニ、玆ニ希望決議ヲ之ニ添ヘテ承認ヲ與ヘタイト考ヘルノデアリマス、其希望決議ヲ玆ニ朗讀イタシマス

本案ハ此際暫定的ニ承認スルモ政府ハ本案實施ノ狀況ニ鑑ミ將來一層ノ完璧ヲ期スルハ勿論從量稅品目ニ付完全ナル調査ヲ遂ケ更ニ稅率改正案ヲ成ルヘク速ニ議會ニ提出スヘシ

現在製鐵業ノ資本ヲ整理シ及事業ノ合理化ヲ圖リ以テ生產費ノ低減ヲ期スヘシ此決議ノ趣旨ニ付キマシテ、前項ニ對シマシテハ大藏大臣、後段ニ對シマシテハ商工大臣ノ、御所見ヲ承ハルコトガ出來マシタナラバ大變結構ト考ヘマス

○國務大臣(高橋是清君) 關稅改正ニ關シマシテ、只今井上子爵ノ御希望ノ決議文ノ御朗讀ヲ拜聽イタシマシテ、了承イタシマシタ、成ルベク急ギマシテ此調査ヲ遂ゲタル上、適當ナ稅率ヲ改正案ヲ作リマシテ、速ニ議會ニ提出イタシタイト考ヘルノデアリマス
○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 只今井上

子爵ノ本案ニ對スル希望決議トシテ、特ニ製鐵業ニ關シマシテ、現在斯業ノ資本ヲ整理シ、事業ノ合理化ヲ圖テ以テ生産費ノ低減ヲ期スベシトノ御趣旨ヲ承ハリマシテ、私ハ商工行政ノ當局ト致シマシテ、謹ンデ御希望ノ趣旨ニ向テ敬意ヲ拂ヒ、其實現ニ對シテ最善ノ努力ヲ致サムコトヲ期シマス

○男爵斯波忠三郎君 私ハ茲ニ議題ニナッ

テ居リマス二ツノ案ニ付キマシテ、贊成ヲ表スル者デアリマスガ、尙ホ此際井上子爵カラ提案ニナリマシタ此希望決議ニ對シマシテ、私ノ解釋シテ居ル所ヲ申述べマシテ、當局大臣ノ御參考ニ供シテ置キタイト思ッテ居リマス、尙ホ聊カ其意思ノアル所ヲ……兩案ニ付キマシテ意思ノアル所ヲ言明イタシテ、贊成ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、希望決議ノ第一項、是ハ先日來本委員會ニ於キマシテ度々論議サレタノデアリマスガ、要スルニ今回ノ從量稅三割五分ヲ……一般ニ從量稅ヲ三割五分引上ゲルト云フコトガ、甚ダ面白クナイト云フコトニ起因イタシテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、再三大藏當局ト私トノ間ニ質問應答ガ交換サレタノデアリマスガ、三割五分ニ付テハ、中ニハ是デ以テ妥當デナイ

ト認メラレルモノガ澤山有ルノデアリマス、カルガ故ニ此希望決議ニハ私ハ全然贊成イタスノデアリマスガ、茲ニ此希望決議ノ御實行ニ對シマシテ、御願ヒイタシテ置キタイコトガアルノデアリマス、ソレハ此三割五分ノ案ハ元來當分ノ中ト云フコトガ謳テアルノデアリマスカラ、國民モ是ハ當分ノ中トハ了解シテ居ルノデゴザイマスケレドモ、一旦是ガ通過イタシマシテ、三割五分ノ増稅ガ加ヘラレタ時ニハ動トモスレバ其保護ニ狎レマシテ、政府ハ此趣旨ニ從テ速カニ調査ヲ遂ゲテ議會ヘ提出サレテ再

ビ稅率ノ改正案ヲ提出サレル場合ニ動トモ致シマス云フト其保護ニ狎レタ結果面倒ガ起ラヌトモ限ラナイノデアリマス、此點ニ十分御注意アラムコトヲ希望イタシテ此希望決議ニ私ハ贊成ヲ致シマス、第二ノ事項即チ現在製鐵所ノ資本ヲ整理シテ事業ノ合理化ヲ圖テ生産品ノ低減ヲ期スベシト云フコトハ是ハ全然私ハ贊成デアリマシテ、關稅ノ保護及國家カラ銑鐵業ニ對シテ厚キ保護ノ要求ヲシテ、居ルノデアリマスカラ、此資本ノ整理事業ノ合理化ト云フコトハ疾クノ昔ニシテ居ラナケレバナラヌノデアリマス、筋合カラ申セバ……併シ是ガナカナ困難ノ事業デアッテ、今日ニ至ッタノ

デアリマスルカラ、商工大臣ニ此際特ニ御願ヲシテ置クコトハ此難業ヲ御實行下サルコトニ於テ萬難ヲ排シテ邁進サレムコトヲ希望スルノデアリマス、併シ動トモ致シマスレバ、資本ノ整理事業ノ合理化ヲ圖ル場合ニ尙ホ國家カラ國庫ノ補助ヲ必要トスルヤウナコトガアリマシハ我々ノ希望ニ背クノデアリマスルカラ、此點ノ如キモ十分御注意アッテ爲サルコトハ無論ノコトト存ジマスノデ、中島商工大臣ノ御意思ヲ堅固ナ所ヲ拜察イタシマシテ、私ハ第二項ニ掲ゲテ

アル希望條件ニモ贊意ヲ表シタイト思ヒマス、尙ホ只今井上子爵ヨリ總理大臣ニ對セラレマシテ、日本ノ我國ノ製鐵ニ關スル國策ヲバ此際廣キ意味ニ於テ確立サレムコトヲ希望サレタコトニ付キマシテ、總理大臣ハ之ニ對シテ十分努力シテ其歩ヲ進メヤウト云フ御説明ガゴザイマシタ、此紛糾イタシマシタ此製鐵ノ問題ニ付キマシテ一段ノ光明ヲ與ヘラレタヤウナ氣ガ致シマスルノデ、私ハ本案、此兩案ニ對シテ茲ニ希望決議ヲ添ヘテ贊成ヲ致ス者デアリマス

○森平兵衛君 私モ聊カ希望ヲ述べマシテ

申上ゲマシテ御答辯モ得タノデアリマスルガ、十分マダ之ヲ檢討シ、審査スルニ時日ガナイノデアリマス、殊ニ銑鐵ノ關稅ノ引上ノ如キハ度々私ハ質問ノ時分ニモ申シマシタ通り我ガ製鋼事業、又鐵工業ニ對シテハ重大ナル惡影響ヲ私ハ及ボスモノト信ジテ居ルモノデアリマスルガ、是モ政府ノ御答辯ニ依リマシテ私疑問ヲ氷解シ、満足スルダケノ答辯ヲ得ラレテ居ラヌノデアリマス、併シ今日ハ時局頗ル重大デアリマシテ、殊ニ前刻井上子爵ノ仰セラレタ通り齋藤首相ハ老軀ヲ提ゲテ、此難局ニ當ラレル、又高橋大藏大臣モ引續キ國家ノ爲ニ御苦勞ニナッテ居ルコトヲ考ヘマスレバ、誠ニ私ハ之ニ對シテ多大ノ敬意ト感謝ノ念ヲ持ッテ居ル者デアリマス、故ニ私モ其コトニ付キマシテハマダ十分ナル諒解ヲ得ナイノデアリマスルガ、茲ニ政府ノ原案ニ對シテハ贊成ノ意ヲ表シマス、尙ホ將來政府ニ於キマシテ只今斯波男爵ヨリ申サレマシタ通り、製鐵事業ニ付キマシテ十分ナル審査考慮ヲ拂ハレテ、又此我國ノ製鋼事業、鐵工業ニ對シマシテモ益、是ガ發展イタシマシテ輸出モ益、増進シテ外國ニ於テ他國品ト正シキ競争ニ堪ヘ得ラレルヤウナ方法ヲ是非講ジテ貰ヒタイト云フコトヲ希望スル者デ

アリマス、殊ニ此從量稅ノ一律一體ニ三割

五分増徴ト云フコトハドウ考ヘマシテモ慎

重ニ御調査ノ出來タモノトハ思ヘナイノデ

アリマス、故ニ之ニ付キマシテモ十分各品

目ニ付テ慎重ナル再ビ御調査ヲ遂ゲラレマ

シテ、速ニ改正セラレムコトヲ望ムノデア

リマスルガ、殊ニ爲替ノ變動及ビ物價ノ指

數ニ付テモ此改正ニ付テハ御考慮ヲ拂ハレ

マシテ完璧ヲ期セラレムコトヲ希望イタシ

マシテ原案竝ニ希望決議ニ賛成ヲ表スル者

デアリマス

○田村新吉君 本案ハ各項目ニ付テ考查イ

タシマスルノニ賛意ヲ表スベキモノアリ、

又同意シ能ハザルモノモアリマス、又本案

ガ今回ノ如キ短期間ノ議會ニ提出セラレ、

慎重審議ノ時ヲ得ザルハ誠ニ遺憾トスル所

デアリマス、且ツ關稅ニ關シマシテハ私ノ

理想トハ隔タルモノデアリマス、併シ現在

ノ如ク世界各國ガ自給自足ヲ目標トシテ保

護貿易政策ヲ實行イタシテ居リマス、此現

代ニ於キマシテハ我國モ亦已ムヲ得ズ保護

政策ヲ執ラザルヲ得ナイト考ヘルノデアリ

マス、殊ニ歳入ノ現狀ヨリ赤字ヲ生ズル現

今ノ狀態ニ於キマシテハ歳入ノ増加、國產

ノ獎勵等現内閣ノ爲ニ今回ノ關稅改正ハ已

ムヲ得ザルコトト認メ、本案竝ニ希望決議

ニ賛意ヲ表スル者デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御意見ノ

御陳述ハゴザイマセスカ

○公爵一條實孝君 私ハ本委員會ニ於テ未

ダ質問ヲスル機會ニ達シナカタノデアリ

マスガ、段々ト皆様方ノ御質問ニ依リ、又

ソレニ對スル政府當局ノ御答ニ依ッテ了解

出來タモノモアリマスルシ、又了解シ兼ネ

タモノモアッタノデアリマス、殊ニ此鉄鐵ノ

課稅ニ付テハ私全ク御同意ガ致シ兼ネルノ

デアリマス、併ナガラ之ヲ削除シテ他ノ比

較的非難ノ少イモノニ同意ヲスルト云フコ

トニ自分ダケハ願ヒタイト思ッタノデアリ

マスルガ、多數ノ御方ノ間デ自分一人ガ左

様ナ考ヲ持ツカラトテ致シ方ノナイコト

デアリマス、簡單ニ甚ダ不本意ナガラ此本

案兩案竝ニ希望決議ニ御同意ヲ申上ゲルノ

已ムヲ得ナイト云フコトヲ申上ゲマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 此際採決ニ移

リタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセズデ

ゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 採決ニ移リマ

ス、只今議案ニナッテ居リマスル二案ニ對

シマシテ之ヲ可決ト認メテ差支ゴザイマセ

ズデゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 御異議ナイモ

ノト認メマス、次イデ之ニ附帶イタシマシ

タ二箇條ノ希望決議、是モ御異議ゴザイマ

セスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 異議ナイモノ

ト認メマス、ソレデ本案ハ確定ヲ致シマシ

タ、是デ委員會ヲ閉會イタシマス、長イ間

審議御苦勞デゴザイマシタ

午後四時二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君

副委員長 男爵斯波忠三郎君

委員 公爵一條 實孝君

侯爵德川 義親君

子爵井上匡四郎君

子爵片桐 貞央君

犬塚勝太郎君

森 賢吾君

男爵赤松 範一君

男爵松岡 均平君

内藤 久寛君

稻畑勝太郎君

森 平兵衛君

大川平三郎君

田村 新吉君

藤原銀次郎君

菅澤 重雄君

北村宗四郎君

國務大臣

内閣總理大臣兼 子爵齋藤 實君

外務大臣 大藏大臣 高橋 是清君

商工大臣 男爵中島久萬吉君

農林大臣 後藤 文夫君

政府委員

法制局長官 堀切善次郎君

北海道廳長官 佐上 信一君

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏參與官 上塚 司君

大藏省主稅局長 中島 鐵平君

農林政務次官 伯爵有馬 賴寧君

農林參與官 松村 謙三君

農林省農務局長 小平 權一君

農林省山林局長 長瀬 貞一君

農林省水產局長 戸田 保忠君

農林省畜產局長 村上龍太郎君

農林省蠶絲局長 入江 魁君

農林書記官 田淵 敬治君

同 井野 碩哉君

商工政務次官 岩切 重雄君

商工參與官 松村 光三君

商工省工務局長 竹內 可吉君

商工省鑛山局長 福田 庸雄君

商工省貿易局長 寺尾 進君

商工書記官 北村保太郎君

製鐵所長官 中井 勵作君

拓務政務次官 堤 康次郎君

拓務參與官 木村小左衛門君

拓務省管理局長 生駒 高常君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

拓務省拓務局長 郡山 智君

拓務書記官 杉田 芳郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

臺灣總督府財務局長 岡田 信君

關東廳財務部長 西山 左內君

樺太廳長官 岸本 正雄君

南洋廳長官 男爵松田 正之君